京城日報

二十四日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）

京城太和町通一丁目　發行所　京城日報社　發行兼編輯人　印刷人　小川三之助

○獨勢力擴大
在露俘虜兵露都に到著

露都來電＝事實上解放せられ居る獨逸俘虜を乘せたる無蓋列車は毎日露都に著しつゝあり市中到る所露軍服を著けたる獨逸兵の徘徊せるを見る要するに獨逸の勢力が露都に於て激しく動きつゝあるは今や疑ふ可からず（倫敦電報）

○俘虜將校兵を指揮す
過激派哥薩克兵戰鬪

モーニングポスト露都特電に曰くタシユケンドにて過激派と哥薩克兵との間に戰鬪あり過激派は優勢なるが之れが指揮を爲す者は獨墺國に俘虜たりし獨墺の將校なり而して約二十師團に近き之等元俘虜の軍隊は今や露都の附近にあり（倫敦電報）

○露內亂全國に擴大
慘澹たる露都の市街戰

露國の內亂は全國に擴大しペトログラードに於ては激烈なる市街戰行はれ光景頗る慘澹たり（倫敦電報）

○ウ政府動員命令

ウクライナ政府は過激派の最後通牒を峻拒し全軍に動員命令を發したり（露都電報）

○赤衛軍革命本部包圍

露都來電＝赤衛軍は二十一日午前三時小露西亞革命本部を包圍し建物內に侵入し居合せたる部員を捕縛し他の部員に對しても探索を行ひたるが此の本部は露都に於ける小露西亞議會の唯一の正式代表者なり（倫敦電報）

○外相トロツキー談判地行不能

外相トロツキー氏が露都不穩の爲めブレストリトウスクの講和談判地に赴く能はず依然露都に滯在中なる如し（露都電報）

○亞國宣戰布告か

亞爾然丁は近く獨逸に對し宣戰を布告すべし（紐育電報）

○平井博士通過

支那交通部顧問平井晴二郎博士は二十三日夜北京より來奉二十四日朝安奉線にて朝鮮經由東上せり（奉天特電）

○米國總領事通過

駐在米國總領事ミレー氏は北京訪問の歸途二十四日午前六時半安東驛通過京城に向へり（安東特電）

○米農商務技師

米國農商務省技師マーミー氏は支那漫遊の歸途二十四日午前六時半通過南行せり（安東特電）

○原田社長著釜

朝鮮郵船社長原田金之祐氏は川田課長を隨へ二十四日朝著釜大池旅館に休憩同日午後十一時發京城に向ふ可し（釜山特電）

◉經濟提携の意義重大
過激派國家を懲らん

▼經濟同盟基礎　外電は荐りに中歐同盟國と露國との休戰に伴ひ兩者間の經濟關係を復活せしむべき談判委員が兩者間に任命せられたる事を報じ一方又獨逸實業家の代表者等は墺國及び露國との直接取引を開始する目的を以て續々ストックホルムに到著しつゝある事を報道し來れり之れ實に露國が戰前以上に獨逸の壓迫を蒙むるの端を啓きつゝあるを示す由々しき事實なり何んとなれば之れ寧ろ戰後に於ける獨墺露の經濟同盟の基礎とも見るべく爲めに露國は永久に原料國たるの域を脫する能はざるべく斯くして事業上中歐同盟の隷屬國たる獨逸は其の國策上の大目的の過半を達し露國民衆は其の參戰と革命とを遂行せる所以の意義の大半を消失せしむるものと云ふべし

▼經濟上の封建　大戰勃發當時各國に亡命中の露國社會黨員の重なる人々が本來の主張を拋ち傳統的の仇敵たる專制派官僚派と欣然握手して中歐同盟國に當れる理由の最も大なる一は獨逸との經濟的關係を斷絕し一歩を進めて英佛の潤澤なる資本を輸入して所謂經濟上の封建的域より脫し道を此所に求めて遂に政治的自由に到達せんとしたるに過ぎず蓋し獨逸國內の旺盛なる產業發達の爲めに早くより露國を原料國として獨逸に隷屬せしむるの必要を痛感し露國宮廷に於ける異常なる獨逸勢力を利用すると共に他方中東歐の社會黨は共同壓迫を以て恩を露國に賣る等種々の狡策を以て露國の資本制度的發達を阻止すると共に却つて資源を自國に輸入する壟斷權を獲得し居たるなり

▼放漫なる思想　以上の如き事情に徵し居たるクロポトキン其他の民主々義者は此政治的自由を得る前に先づ獨逸を膺懲して露國より其勢力を一掃し之れに代ふるに英佛の民主的勢力を以てせんとの計畫著々成功せんとするに際しレーニン一派の反對派が放漫なる思想の實行に急にして他を省みず爲めに獨逸をして臨鼻の欲を逞ふせしむるが如きは結局彼等自ら自由を失ふの外なからん（某外交通談＝東京）

◉總督歸任延期

東上中なる長谷川總督は二十四日午前東京驛發歸任の豫定なりしも一日延期二十五日東京出發二十七日午後京城歸著の豫定なりと

◉總監記者招待

山縣政務總監は二十四日午後六時より總督府出入記者團を北月に招待せしが荻田總務局長、遠藤秘書課長、工藤總務課長等は主人側を代表して出席したり

◉鐵道滯貨
漸次激增す

滿鐵京城管理局に就き十二月二十日現在に於ける內地行連絡貨物の輸送狀況を聞くに全鮮在荷數量は本州行二萬七千九百八十噸、九州行七千八十九噸、合計三萬五千六十九噸にして之を十一月十四日現在數量一萬七千八百九十二噸に比すれば實に一萬七千百七十七噸の滯貨の增加を示せり、局線內各驛滯貨の內譯左の如し

	本州行	九州行
十一月上旬申込	三五三	―
同　中旬同	七二六	―
同　下旬同	六〇九	五〇一
十二月上旬同	四、六一七	一、九五五
十二月中旬同	八、九三二	一、〇二九
小計	二七、二一七	三、四八五
二、釜山棧橋滯貨	四、三三三	三、二〇九
三、局線內輸送中のもの	三三一	三九五
以上合計	二七、九八〇	七、〇八九

尙關釜間及び山陽線輸送力一日八百噸（鮮滿發六四〇噸、釜山地發百六十噸）にして內山陽線罹生以東行一日六百噸下關九州行二百噸なり因に本月七日迄は一日の輸送力一千噸なりしも第三共榮丸の廢航に因り二百噸の減少を來しつゝあるが來る廿八日頃より之が代航として紀州丸就航すべきも同航積付數量は確定せざるに付關釜間の輸送力は當分現行便のみなりと

◉治水施設調查
支那直隸省有力者入京

支那直隸省の有力者陳臨也孫嵩也の兩氏は直隸省水害善後計劃調査員として最近入京總督府竝に東洋拓殖會社等を歷訪し治水拓殖に關する施設乃ち植林移住水利排水等の調查をなし更に近く大正水利組合臨益水利古阜水利全益水利等の大灌水利を視察する由なるが直隸省は今秋の大洪水猶ほ未だ二百方里以上に氾濫し居る由にて兩氏は歸國後相當の善後策を講ずるためなりと

◉朝鮮殖產銀行新設
農銀の統一＝明年七月より開業

▲殖產銀行法　新設銀行は漢湖平安金州光州慶尙咸鏡六農工銀行を打つて一團とする朝鮮殖產銀行の新設に就ては既報せしが更に或る筋に付聞く所に據れば朝鮮殖產銀行と稱し總督府より今期議會に提出する殖產銀行法の協贊を得ば其の公布實施により大正七年七月一日成立營業開始をなす事となり居れり而して一方現在の六農工銀行は農工銀行法の廢止により何れも六月三十日限り解散し其權利及び義務を新殖產銀行に繼承するの形式を執る事となるべし

▲資金と債券　殖產銀行の資本金は八百萬圓（前報一千萬圓とせしは誤まり）五十圓株十六萬株にして資本金拂込額十倍の殖產銀行債券發行の特權を與ふべく乃ち資本全額の拂込みを終れば八千萬圓の債券發行力を有する譯なり唯成立當初は多分半額拂込みの四百萬圓となすべし尙ほ某紙に於て資金三百萬圓說を報ぜしが全鮮の不動產金融並に商業金融を兼營し且つ數百の金融組合に密接の連絡を結ぶ長期の放資に活動せんとする銀行の資本金が三百萬圓の如き少額にては信用竝に資源に不足を感ずるは疑ふの餘地なく三百萬圓說は全然誤なり

▲統一上の問題　六農工銀行を統一して殖產銀行を新設するに付多少の障碍となるは（一）現在農銀の株券の額面が二十圓なる事（二）各農銀の信用資產狀態必ずしも齊一せざる事（三）現在農銀の株主は鮮人及び農業從事の內地人に局限せる事竝に現株主を新殖銀の株主に引直せし際其の拂込資金に窮せずや等にあるも之の如きが（一）の株券額面の相違は破るべく農銀株主の既得權を尊重し相當株の割當てをなす事となり（二）の農銀の資金信用狀態の相違は併合に際し別に區別せず同一條件を以てし（三）の株主局限は到底新銀行の成立を見たる後事實繼續し難き問題に付一般に公開すべく兎に角當局には相當の對案成り居れり

▲殖銀の實質　要するに本銀行の成立を見ば資本金半額四百萬圓の拂込にても直ちに四千萬圓の債券發行力を有するに付朝鮮不動產金融竝に地方に於ける商業金融は農銀時代に比し一段の進展を見殊に鮮內に於ける長期の不動產放資は東拓金融部と相並んで遺憾なきに庶幾からん尙ほ新殖銀は後に北海道拓殖銀行と並行するに足るものなるべし

◉兩行引繼進捗
大連の鮮銀店長會議

旅順、鐵嶺、遼陽、安東、四平街、金州出張所を明年一月一日より鮮銀に引繼ぐ事となる旨は既報の如きが既に其の引繼ぎに關する鮮銀の調査は終了せしに付二十二日より大連支店に於て前記各店長の會議を開きたり尙ほ兩行員の交替は明年よりなるも其の事實上の引繼ぎは十二月三十一日夜行はるべく鮮銀各店より滿洲に轉任を命ぜられし行員は二十一日迄に全部赴任せりと

◉鮮銀券膨脹
六千八百萬圓臺に上る

朝鮮銀行券の二十四日發行現計は六千八百萬圓臺に達し數日前に比し約三百萬圓の膨脹を見たるが之れ朝鮮に於ける增發にあらず朝鮮は地稅收納期にて回收の方多き觀あるも滿洲は最近特產の出廻盛んにして資金の需要急增せしためなりと

◉東拓收納終了

東洋拓殖會社の大正六年收納は昨今殆ど終了各地の倉庫共滿庫の姿なるが其の成績は黃海道減收の爲め昨年より若干の減收を免れざるべく概約三十萬石內外ならんと

◉種苗場開所式

既報の如く京城東大門外崇仁面に於ける京畿道種苗場は豫て工事中なりしが愈々全部竣成せしを以て二十四日午後三時開所式を擧行したるが當日は松永道長官以下第一第二部長技師列席したり同所は種苗場敷地一萬二千町歩にして原種及び優良種を種ゆる水稻陸稻大小麥大豆の種苗を發植し約二百二十石の種子を得之の種苗を更に四百二十町歩の種子とし更に翌年より道內一萬七千町歩の種子に普及配布する計畫なりと

◉隈部少將入京

隈部關東都督府警務總長は歸任の途中二十四日朝南大門驛著憲兵將校官鮮人實業家新聞雜誌記者等多數の出迎を受け入京[illegible]務部長官舍に入れるが同日午後九時四十分發北行歸任すべし

▲招待晚餐會　憲兵隊司令部、警務總監部及び京畿道及び同警務部は隈部少將を同日午後六時千代本に招待し晚餐會を開催す

◉鹽澤大佐歸任

鹽澤京畿道警務部長は江華島に出張中の處二十三日夜歸任せり

◉久水課長容態

痼疾治療の爲め總督府醫院に入院中の總督府外事課長久水三郎氏は入院後經過極めて良好にして猶ほ一週間靜養せば全治退院するを得べしと

◉原田社長歸京期

日本郵船會社の要務を帶び東上中なりし原田朝鮮郵船社長は川田文書課長を隨へ二十五日午前九時二十五分南大門驛著列車にて歸京すべし

〓群山〓

▲賀狀引受　群山郵便局に於ける年賀狀特別取扱は十五日より開始したるが二十日に至る六日間の引受總數八千九百四十通にして昨年の同日間に比し六百八十通を增し例年二十日以後より漸次引受數を增し引受締切に切迫するに從ひ益々其數を增す狀況なるが本年は賀狀の引受開始以來二十日迄の引受狀況に依りて推測するに昨年の引受總數七萬六千五百通に對する一割の增加を見るべしと

▲臺紙附切手賣出　群山郵便局にては豫て各地補助貨缺乏の緩和策として當局發行の臺紙附郵便切手五錢券二十枚貼附の分八十枚到著と共に二十一日賣出したるが當日午前中忽ちにして賣り盡したるを以て至急同券の送致方を電請したりと

▲天候と米穀　群山地方は本月に入りて天候の恢復を見ること少く連日降雨降雪を見ざれば曇天にて道路泥濘甚しく交通を妨げ奧地よりの米穀搬出は著しく減じ又天候不良の爲め籾の乾燥捗々しからず昨年十二月一日以後二十日間の群山米穀檢查所取扱に係る米穀檢查總數量に比し本年同月同日間の米穀檢查數量は約三分の一に過ぎず

人事消息

▲ラッサール氏（米國銀行家）　二十四日朝過京
▲菅田[illegible]氏（[illegible]所長）　二十四日朝通過
▲大海中佐（第七十七聯隊附）　二十四日朝通過
▲富田治常氏（平安南道第一部長）　二十三日附を以て往復十四日間の豫定にて福岡、大分、熊本、長崎各縣へ出張を命ぜらる
▲山口[illegible]氏（拓務課長）　二十三日水原より歸京
▲[illegible]氏（慶北道技師）　入京中の處二十四日歸任
▲川村五十雄氏（セールフレス社長）　東上中の處二十三日歸京
▲稻垣[illegible]氏（[illegible]研究所長）　家族引纏の爲廿四日朝入京廿五日[illegible]任の筈
▲吉崎[illegible]氏（元遞信局技師）　二十五日朝南大門驛發京

□東京より
歐洲出兵論（三）
北京　一記者

○我が帝國が聯合國に左袒し對獨戰爭に參加し倫敦協約に加盟したる所以のものは宣戰詔勅の趣旨を引證する迄も無く東邦の平和を確保して獨逸の勢力を掃蕩し聯合國の後援たるに在り、而して我が帝國は青島の役を興して東邦に於ける獨逸の根據地を掃蕩し獨逸の艦隊を殲滅して太平洋の平和を確保し聯合國に對する任務の一部を全うするを得たりと雖も敵國の優勢なる軍事上の地歩と戰局の擴大せる結果とは我が帝國の聯合國に對する任務をして益々重きを加へしむるものあり。隨て我が帝國が克く此の任務を全うすると否とは實に歐洲戰局の安危如何に關するもの極めて大なることを知らざる可からず。

○吾人は我が帝國が聯合國に對する任務の如何に重大なる乎に就て其の要綱を左に列舉し帝國の立場を明にし一は以て我が國民の注意を促がし一は以て聯合國の諒解を乞はざる可からず

一、聯合國に對する兵器彈藥及び軍需品の供給
二、聯合國に對する船舶の提供及び財政上の援助
三、支那大陸に對する平和確保の後援
四、支那、滿洲、印度洋並に南洋に對する警備
五、太平洋方面に對する警備
六、地中海に於ける聯合國海軍の後援
七、印度方面に對する平和確保の後援
八、露國方面に對する警備

我が帝國が聯合國に對する任務の如何に重大なる乎は多言を要せし而して歐洲大戰以來茲に三年有半我が帝國が聯合國に對し其の任務を盡すを怠らず將來に於て益々其の任務を盡さむとする精神は帝國民の一日も忘る可からざる所也。

○試に想へ我が帝國は東邦に於ける獨逸の根據地を覆へし聯合國及び支那大陸が敵國より脅かされつゝありし平和と利權とを保全する任務を全うしたるに非ずや、支那海印度洋及び太平洋方面に於ける獨逸艦隊を驅逐し英佛兩國の航路を保障したるに非ずや。佛領印度の平和も帝國の武力に依頼したる所あるに非ずや。滿洲出征軍の輸送を全ふしたるも亦帝國艦隊の掩護に由るに非ずや。革命以前の露國が獨墺軍に對して戰鬪的能力を發揮したるも、亦我が帝國が武器を供給し、軍需品を供給し、軍資を援助したる結果、與りて力ありしに非ずや。英佛諸國に對しても武器、軍需、船舶其の他出來得る限りの援助を與へ、又遠く艦艇を地中海に出動せしめつゝ、獨墺戰を辭せざるに非ずや。誰か我帝國が聯合國に對して何等寄與する所なしと謂ふ乎。誣妄も亦甚しと謂ふべき也。

◉南伐令宣布電請
閣員馮總統の態度に不滿を抱く

馮總統は去る二十日大元帥の名義を以て曹錕氏に對し部下を引率して直ちに湖北に到り防備の任に當る可きを命じたるも曹錕氏は之を惧れ更に二十二日夜「希望するところ防備に非ず直ちに南方討伐令を宣布ありたし」と電請し來れり尙馮總統の態度變轉常無く曖昧なるより多數の國務員は不滿を抱き近く辭職する者ありと傳へらる（北京特電）

◉妥協條件提出か

馮總統及び王總理は不日妥協條件を南方代表者に提出する筈なり（北京特電）

◉曹錕麾下兵著漢

曹錕麾下の騎兵四百名漢口に到著せり（漢口電報）

支那の詩畫史
（七）今關天彭氏談

○已にして北方に國を建てた金は、その勢が益々盛んになつて、一世の榮華を極めた。徽宗皇帝は、アレ金兵のために俘となつて、五國城で果敢なき最後を遂げた。五國城は鐵嶺、咸鏡北道の會寧附近である。そして徽宗が集めた歷代の名畫は悉く金兵のために分捕られて、金の都即ち今の北京へ集まつたのである。

○北宋は之れで滅びて、今度は南宋となる。北宋は汴梁即ち今の河南の開封に都して居たが、南宋は臨安即ち今の杭州に都を建てた。南京は古し、三國の孫權が始めて都を置き、其れから晉が南へ移つて茲に居り、引續き南朝の都であつて、文學美術の本場である。それに南京の地が揚子江の下流に當り土地が富み、物產が豐かに、其上山水が非常に明媚で風景の好いのは支那第一であるからである。

○南宋は茲に都を置き、其上、高[illegible]お繪が好きであつたから畫院即ち繪所には有名な人が出た。迄に至つて院畫の一時期となつた。それは徽宗の時は主として花鳥畫を畫いたのであるが、南宋の院畫は主として山水を畫いた之れ徽宗時代と異つて居るところである。然し是れは南宋へ移して、その附近の所謂西湖の風景によつて變化したのである。

○南宋の院畫と北畫と[illegible]く似て居ると云ふ事は、[illegible]た人の皆云ふところである。[illegible]の院畫も、北畫、[illegible]は、無論北畫でなければならぬ[illegible]其の北畫が江南の[illegible]は甚しくヘンだと思ふ[illegible]も知れぬが、それは[illegible]南畫を知らぬ人である。

○南宋の畫院には二つの派があつて、一つは青綠巧細派とも云ふべき趙伯駒、李唐、劉松年等を代表者とし、一つは水墨蒼勁派とも云ふべき馬遠、夏珪を代表者とする。前のは北畫の元祖で、後のは[illegible]變化したものである。

○これから山水畫の發達する順序となる。南畫北畫は、山水畫に就いての區別であつて、晉唐の間[illegible]維、唐宋に出た荊浩を筆頭として其の畫法を受けた門下たる董源、巨然、若くは二黄や郭熙時代の李成、范寬夫から蘇東坡時代の米芾等の一派が發達して南畫となり、唐の李思訓、南宋畫院の一派を北畫と云ふのである。しかし之れは明末の董其昌が立てた區別であつて、初めから何の區別もないのである。

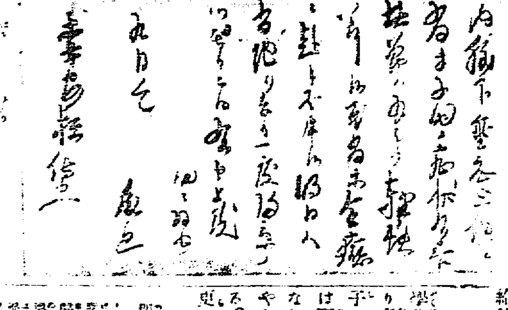
○南宋の詩人は楊誠齋、范石湖、陸放翁を以て隨一とする。與中放翁は蘇東坡と併稱せらる人である。この詩の長所は、思想を盛るべき字句の熟練と、音調の響亮して居る事である。そして之れがいかに南宋畫院の諸派と關係して居るかは、陸詩を讀む者の尽に知つて居るところである。

○宋を總り、元となり、明となり、清となり、その間詩界畫壇の流行は、その軌道を一にして隨分面白く思ふ事があるが、餘り長くなるから是で止める事とした（終）

社告
當月支拂は廿五日限りと相定め申候
但午前十時より午後四時までの間に御請求被下度候
京城日報社

今朝出發退京の際は早朝寒の折態々御見送を忝うし奉謝候此段乍略儀紙上を以て御禮申述候敬白
十二月廿四日
山崎猛

明治十七年獨逸留學中の青山博士と最近森安博士に寄せし手蹟



青山醫學博士薨去

大隈侯と最後の握手後昏睡狀態に

青山博士は二十三日拂曉愈々危險の狀態に陷りたるを以て入澤、三浦兩博士稻田宮本兩學士以下三十餘名の門下弟子枕頭に詰掛け看護に努めたるも午前十時半大隈侯が枕頭を訪れ最後の握手を爲せる頃より次第に昏睡狀態に進み午後四時四十五分遂に薨去せり同邸にては未だ喪を發せざるも多分隈川醫科大學長葬儀委員長となり近く青山齋場にて神葬を以て取行はる可し（東京特電）

比類のない名醫

▼臨床家としても

◆故青山博士の事ども◆　森安醫學博士談

本月十三日來食道狹窄症のため危篤を傳へられ、功勞による授爵の急命を病床に拜受して以來日夜三十餘名の門弟に護られ及ぶ限りの手段を以て療養に力められつゝありし博士の遂に薨去せりとの報を接手して長く博士の下に助手たりし親しく薰陶を受けし森安博士を訪ふ愛愁に眉を暗くして同氏は曰く『遂にその事がありました、實に日本醫界の損失で遺憾の極みである、先生は明治元年の生れで有るから今年漸く五十九歲の働き盛である

◆此働き盛り　といふ事は他の人には妥當を缺くか如何かは知らないけれど私は特に先生に於ては適切な言葉であるを思ふて愈々遺憾を深くするのである。と云ふのは先生の不斷の努力、不滅の研究心を念ふからで、先生は實に恐しい精力の所持者であつた一度先生の書齋を見たものはその新著の書籍雜誌の山なすに驚かされ再びこれの殆ど凡てが先生によつて日常讀破されて有る事實に讚歎をなすのである然も先生は日常『どうも書物が讀めなくて不可ない』と口癖の樣に云はれるのを聞いて汗顏し自ら發奮するのは我々當りではなかつた。その研究心に到つては亦驚く許りのもので、若し我々が珍らしい症狀の患者にでも遇ふした事なら、それを羨まれる程に注意され、顧問されて遂には是非見たい、朝鮮へでも行つて見やうと云ふ風に乘り出されるのであつた。明治二十七年に黑死病研究の爲に香港に向はれた時なども、な譯であられたらうと推察される。然も先生には

◆著書と云ふ　べき物は無いのである。勿論、生徒のためのノートを出版されても立派な著作にはなつたらう、けれど其處が先生の面目躍如たる處で、特に學者などは一生研究の身上で自說を執つて動かないといふ樣なのはしくない樣だ。著作などはまだその時でない』と云はれる先生にして此事あるのである、倘我等は此の言葉より

◆嚴肅にして責任感の強い先生を併せ知る事が出來るのである。先生の初めて留學されたのは明治十六年で我國ドイツ留學生として最も早かつた一人であらうそれから歸つて醫科大學教授となり、それから學長となり本年九月病の故に辭して單なる教授として今日に及んだので我々は一昨年先生の爲に在職廿五年の祝賀會を擧げたのである。その間教授として學長として盡された功勞は何にも喩すべからざる處、我々を不肖として門下生を日本醫界に送つた無數の門下生の其他先帝御不例に侍されてより宮內省御用掛となり

◆九重の御用　に供し、尙傳染病研究所長をして今日迄その務にも有つたので、更に亦臨床家としてこの比類なき名手は醫科大學の珍寶だつたのである。博士の診る處によれば聽診器など問題にならず、凡て器械的に解つて仕舞つて居る。これには我等も常に及び難きを譲り合つたもので、しかもこれを忽せにするのでなく後に發表するといふ風であつた、萬事に斯樣した調子で先生の性格は一面豪放灑落であり、一面非常に謹直な責任感の強い人であつたのである

生徒としてガミガミと怒鳴られた我々が其の當時飯食ひに誘はれて一所にお相伴をする時などよく給仕なさして呉れて

◆足が長いのさ　學生時代には馬といふのが僕の通り名だつたよアハヽヽ」といふ調子に可愛がられたものだ。その頃は野球もやられた相である趣味もなかなか多方面で、玉突、圍碁もやられるし將棋は初段位を指されるわれ與にこの悲報を得ては今更に感慨に堪へないのである

略歷　明治元年二月美濃國本巢郡に生る、明治十五年東京大學醫學部卒業、十六年獨逸へ留學を命ぜられ、二十年歸朝醫科大學教授に任ぜられ、…三十四年五月醫科大學長…傳染病研究所長の任にあり（下略）

年賀郵便

▼差出す時にどんな注意が要るか　‖矢野通信課長談‖

年賀郵便は歲末の切迫に伴ない各局共其の取扱ひが盛んに殖ゑてゐるが年賀郵便に關する注意として矢野通信課長は語る『年賀郵便は何人も澤山出すから自然走り書きになる傾きがある、そこで間違ひが出來る差し向き

◇◆◇京都と京城それから京城と宮城の如きは紛れ易い、又愛知と愛媛、伊豫と伊賀の如きも成るべく明確に書いて欲しい、福島縣若松と福岡縣若松も宛書をよく認ためぬと間違ひが起る、次に注意を求めたいのは成るべく肩書の宿所を精細に書いて欲しい、假へば大和町三丁目何のなにがしとせず番地は可成記して貰ひたい、でないと配達人が心勞する、又夫人に行く年賀狀は可成である。但し頗る知名の人は別として主人の名前を肩書きとするか少くも番地を明らかに認められたい

◇◆◇何故なれば山田とか中村とか云ふ苗字は同じ町內でも少なくない、而して婦人の名は同じのが多い、單に大和町一丁目中村安子とあれば他に何名異人の女がないとも限らぬ、『東京』とかをつける事を忘れてならぬ、乃ち赤坂區とか小石川區とか北區とか大阪に出す年賀狀は必ず區名を記してもらいたい、之れをつけぬと往々遞送區分に際し、間違ひを生じ、遲延や不著を見る事がある、又宿屋などでは名簿の訂正を怠る家が多くて毎年人の居所を同じに所とし

◇◆◇既に移轉してゐるのに舊居所に出す然も二年も三年も續く事がある、適當の方法により其訂正は必要である

◇◆◇前述の如き間違ひや走り書きがあつても正してゐるから大抵は發見するのだが、歲末年首は非常に多忙であるから、從つて其の誤つた文字や肩書を判讀する注意もいくらか散漫になるかも分らぬ、其の結果は延著や不著となるの●から發信者は出來る限りを正しつけて欲しいと思ふ

◎黃州署の活動

賣淫逮捕…三菱製鐵所工事の進捗に伴ひ…竊盜賭博暴行等現行犯人十七件人員四十九名を…廳所にて泥棒を働きて檢擧され京城地方法院にて懲役一年六箇月の…

◎連絡船上陸客　二十三日

朝鮮人港　新羅丸二等客…

臺紙附切手の賣行が好い

未だ一般に周知されてゐない

今回發賣を開始した臺紙附五錢切手は臨恰も小錢取引の盛んな歲末に…

圖各方面から大いに歡迎　お客さんも…

圖只朝鮮人は　金と替へて…

圖某銀行家曰

露都に大洪水

鮮銀小額紙幣が改版される

朝鮮銀行にて昨年來滿洲に發行しつゝある五十錢、二十錢、十錢の三種の小額紙幣を最近朝鮮にも發行することとなり…

列車衝突　死傷百餘名

米國ケンタッキー州シエファードヴィル來電に依れば二十二日夜ルイズヴィル、マッシユヴィルの間の旅客列車と地方列車と衝突死者六十七、負傷者五十六名を出せり（大阪特電）

□警察署から家庭へ

◇携帶品に御用心◇　年の瀨が近くに來ると何彼と人の心持がソワソワする…

機關車車止を突破す

二十四日午前二時四十分長崎線武藏より…

漢江結氷堅し

漢江の結氷は漸次堅牢となり…

新春灯と懐し

寂しい浦鹽

諸物價の暴騰

二十二日朝釜山入港の…

▲紙幣の濫發

▲麵麭や煙草

▽強盜が働く

商況

東京現物特電

公債直取引

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

下關相場

◎板紙好況

◎銑鐵は市況手堅

◎牧畜要減退

◎平板更に崩下　三圓十錢

◎精米下押す　約二十錢方の引弛

◎糸布又も値　◎雜穀

仁川正米

仁川期米　二十四日前場

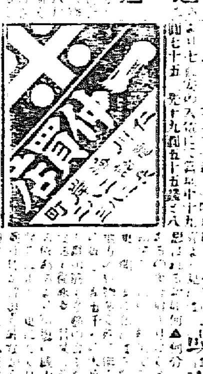
京城正米

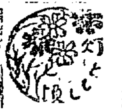
南大門の廻穀

市場雜觀

仁川米豆取引所　二十四日の二月限

大阪期米





仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店

仁川米豆取引所　二十四日の二月限

天候　晴れ

仁川期米

二十四日後場　今中限十九圓七十錢より六十三錢先限十九圓七十錢より五十六錢より大阪諸商を受け先六十錢あり結局五十九錢を手堅き成錢

[illegible]

彼等の暴威は怖に足らず

發作的心理と節制なき慾望
突發的事件の惹起は保せず
何等痛快なる皮肉に非ずや
我には急に當るべき策あり
懸案の解決か新事例發生か

當地○○○○の觀察談に曰く哈爾賓に於ける過激派の跋扈跳梁は内外新聞の報ずる處と大差なかるべしと見るも彼等過激派には何等統一せる勢力の中心存在せざるを以て之をして思ふが儘に振舞はしめんかそは實に重大なる暗黒世界殺傷修羅場を出現せしむべき事は勿論なるべしと雖も茲に多少なりとも**統一せられ軍紀ある軍隊又は警察官をして之れを警戒せしむるに於ては彼等一派の暴威は敢て怖るゝに足るべきもの無し**今や奉、吉、黑省の支那軍隊は自國の主權地の安寧秩序保持の爲め數旅營哈爾賓に派遣せらるゝ事となりたるを以て先づ當分は大なる擾亂なきものと見るを得べし哈爾賓に於ける過激派は歐露に於けるそれと同樣何等理想なく成算なく唯だ斯の如き時季に於て眞面目に爲し居るは馬鹿**馬鹿しと云ふが如き一種の群衆心理に左右せられ此の發作的心理と共に節制なき彼等の慾望**は掠奪となり白晝の強盜となり其の衆力を恃みて敢てホルワット將軍を威脅するに至れり今や露西亞は歐、亞、共に官憲及び有階級者の勢力全く地に落ちたるを以てホルワット將軍も目下支那軍隊の警護の下に僅に安寧なるを得る有樣なるを以てホ將軍の實權は殆んど無に歸したりと云ふも不可なかるべし斯くの如くして哈市の秩序は今や全く支那軍隊の手に由つて維持せらるゝに至り近き將來に於て支那軍隊と露國過激派との間に衝突を起すが如き事は無かるべしと觀測せらるゝ處なり然りと雖も**時日の經過と共に元來節制力薄き支那軍隊の事なれば或は何時如何なる事件を惹起すべきや保し難き處也**現に昨秋の如き白晝長春城内に於て兵士が市民を掠奪したる事實あるに非ずや、元來支那兵は給與豐なる時は可なり一旦其の給與不充分を告ぐるに至ればお構なく掠奪を開始するは其の國民性の特徴とする處なり露國が極東に於て支那兵の爲めに自國の秩序を維持せられ其の長官領事等官憲は皆な支那官衙門に逃れ入りて僅かに保護を受けるが如きは之れを十七世紀以來壓迫に壓迫を加へたる露國の極東侵略の歴史より觀來ればこれ何等痛快なる皮肉に非ずや近時我國よりも哈市に出兵せよと說くものあれど勿論我國は必要に應**じて急に當たるべき策は充分にあり、然れども今日俄かに騷ぎ立ちて支那兵と其の行動を共にする要なかるべし**東清鐵道の運轉も甚だしく不確實になりたるは事實なり然れども之れ亦哈市の秩序の全然破れざる限り全く運轉休止の如き事なかるべし若し運轉の休止せる場合に臨まば如何にすべきは支那政府と日本政府と又第三國の協議の結果世界交通路の公益上其の運轉を可能ならしむるに至るべし然れども事は之れに及ばざるべし萬一此の際に至らば**或は東清鐵道に對する懸案は解決せらるゝに至るやも知るべからず又或る重要なる國際經濟上の新事例の發生を見るに至るべきか**何れにせよ露國の事は支那の事と共に俄に豫測し難きを以て其の特質とす(大連)

東蒙作柄有望

滿洲北部及び東蒙一帶は本夏の洪水にて地上に壓土數寸堆積し數年殆んど施肥されずして荒涼を極めたる同地一帶は此自然の堆肥により來年の作柄は極めて良好なる可しと

大連東拓盛況

明春迄には豫定數倍の貸出

大連東拓支店は年末と共に貸付申込盛んにして既に十七八萬圓の貸出を行ひ年内には約三十萬の貸出を爲す豫定なるが何分まだ支店開設後間もなき事とて社務以外の雜務頗る多く加ふるに店長以下社員僅かに六名のみなるを以て安東店長の如きは朝は七時半頃より出勤し夜の十一時に至りて漸く退出する有樣なるが貸出が普通商業銀行の如く一見して鑑定し得らるゝ有價證券又は商品と異り土地建物等なるを以て鑑定に頗る際取れども一方借方の便宜の爲め二名の鑑定係りの社員の外に中村組土木建築事務所志岐組滿鐵等に鑑定の依賴を爲し能ふ限り敏速に貸出を行ひ目下の處にては申込後三日乃至七日にして貸借金の授受を了する程度なるを以て從來特殊銀行と云へば相當の紹介者ある上に申込後少くも二三箇月を經過せざれば金員の實際授受を得ざるものとのみ思ひ居たる大連の人々に取つては意外の感を與へ目下の處安東店以外に東拓の貸出が手輕なるを以て時間の許す限り無紹介にて何人の面會にも應じ居るを以て其の申込希望者又は多少の[illegible]を開始したるものをも加ふれば其の額は意想外の多額に達する由にて明年春に至らば豫定に數倍するの貸出高を見るに至るべしと

滿洲大豆輸送馬車

東拓資金歡迎

土地會社の發起計畫

最近支那當局は幣制改革に意を注ぐに到れる結果多年紊亂を極めたる紙幣濫發を制限せるを以て各銀行は資金を貸出しする處の騷ぎに非らずして極力營業縮小の自衛策に逐はるゝに至れるを以て目下市場金融は極めて逼迫を來たし斯かる資金を當てに遣繰りし來れる農家は農業資金をすら得るに困難を訴へつゝあり斯く農村疲弊の狀態なるを以て支那人間には早くも東拓資金歡迎の氣分漲り居れり然れば東拓を代表して簡易に之等資金の供給を充たす可き機關の必要目下痛切に認めらるゝより豫て計畫中の噂ありし土地會社なる東省實業公司は最近愈々具體的に進捗し奉天、大連、長春、東京にて各發起人の顏觸れも決定したりと

煉炭の賣行

飛ぶが如き

仁川市内の煉炭品切

石炭の騰貴木炭の昂騰は寒くなるに伴れて益々不自由を感じさせるが爲め比較的格安の煉炭は一時に其の需要を增加して仁川中に一軒でも此の煉炭を使用せぬ家は無いと云ふ有樣

瓦斯の發生が衛生に害あらうがあるまいが經濟の壓迫には如何ともする事が出來ないと見えて充分其の害を知り拔いた醫者の宅にも火鉢の中に埋め込んでゐる、差當り其の害毒の反應が無ければ人間は先づ何處迄も其の當面は我慢し得る勝手な者に出來てゐる、そこで此の物價昂騰の砌りに際して高い木炭を炊くよりも經濟上の見地から割り出したものは

衛生思想を打壞して人間の總べては此の毒瓦斯を自から吸收する樣になつた、之が價格は木炭に較ぶると頗る安い一箱六十個入りで七十四五錢一個平均一錢二三厘に相當する而もそれが朝から夕べに至る迄一個或ひは二個で事足ると云へば之を使用せぬものは經濟上の不具者であるとしか思へない譯となる煖爐用とする二ツ穴煉炭即ちピッチと稱するものは尚ほ多少の數量はある樣だが

三ツ穴煉炭の火鉢用になるものは今は仁川の何處を探しても手に入れる事は出來ぬ程だ左樣に其賣行きは飛ぶ樣にあるとの事であるが勿論平壤の製造元でも作り合はせぬ繁盛であるらしい

仁川の木炭は矢張り一俵の石油箱一個入りが五十五錢位ゐで全部黄海道ものゝ計りであるが今年は殊に少ないのであるが其上天候の如何に依つては亦入荷が絶ゆるかも知れぬので或ひは昂げはせぬかと御側されて居る、然し必ず舊正月頭になれば木炭の値は下向きになるに極つて居る、仁川の在住者はそれでも京城に比較すると木炭石炭總べてに就て非常の格安なものを手に入れて居るから餘程の幸福だそうである

石炭も倘ほ二十圓五十錢或ひは二十一二圓と云ふ處、之も先づ當分は安くなるなどの心配は無い、此の處當分は之等の燃料に泣かされねばならぬが殊に經濟家の而も非衛生家に取つては煉炭の品切れは頗る打擊であらう(仁川)

有望なる沙河子炭

滿井驛の東方一里　本庄波衛氏經營

沙河子炭坑は吉林省伊通縣が尾の如く奉天省に入込みたる沙河子にあり(滿鐵滿井驛より東方一邦里昌圖驛よりは北方一邦里)本坑は古來より支那人の採掘せる形跡あり露治時代滿井驛より**鐵道を敷設し大規模の採掘**に著手したるも戰爭に到りて放棄したるを支那人復た土法によりて採掘したるも設備不充分にて出水甚しく何れも成功せざりき然るに奉天の本庄波衛氏は奉天省財政部の豪族徐振閣(目下北京財政部官吏)氏と合辨組織の資本金五萬圓にて同興煤鑛公司を設立し去る八月一日より家屋五棟の建築を爲すと同時に十一月より開鑛に著手せり**鑛層は八寸層、三尺層、五尺層、六尺五寸層**にて炭質は漆黑の光澤を有する有煙炭にて粘著性あり頗る本溪湖炭に類似す現在鑛區は邦里一方里にて之れより稍南方に位せる奉天省管下に猶一鑛區を出願しつゝあり現鑛區よりも炭質優良なりといふ同坑は現事務所の東南方に本支二坑を有し本坑は五百八尺、支坑は九十三尺まで進捗し廿尺にて八寸層に五十尺に於て三尺層に著炭し百八尺にして六尺五寸層に著炭したり尚二百四十尺に**して八尺層ある見込にて目下進**行中なり尚事務所前の谷川を下りて北側の山麓に九尺に八尺の新鑛を鑿ち十五尺にして一尺二寸層に著炭し四十五尺にして三尺層に著炭し目下六十尺の處を掘りつゝあり之れより三十尺を進めば六尺五寸層に切當る筈にて來る一月二十日迄には六十馬力及び三十馬力の器械二臺を据附け益々規模を擴張する由

お正月の花

掃花も盆栽も

新年の裝飾品としては[illegible]若しくは床の間にしても見床しくないのは松竹梅の鉢植か福壽草ある近頃當世風のハイカッた家庭では洋花の西洋花など馥郁の薫を新春の座敷に漂はせるのも一風變つて面白い是等新春用の和洋草花は白花園の温室に來ん春を待ち顔なるが洋花では『ホクシャ』『シクラメン』『リヤ』など艶でやかな笑みを含んで居る爽櫻桃梅なども春を待たずにホンノリと粧ひを凝らして居る松竹梅の盆栽は大阪仕立のものが多いが優美な鉢植にして二圓五十錢位から三圓位のものだそうだ鉢持參なら七八十錢で整へると云ふが贈物としても相互に喜ばれるものであらう

黑省投降馬匪

鮑督軍に投降したる馬匪中より已に二營を編成したるが更に數百名の未編入者あるを以て鮑督軍は之れを巡防隊に改編す可く中央に電請せり

雲山金塊事件

廿五日判決言渡

雲山金鑛金塊輸送馬車襲擊事件の主魁李鎭龍外二名に關する控訴公判は既報の如く二十日平壤覆審法院に第一回を開きたるが事件顛末極めて簡單明白なると各被告何れも犯罪事實を承認せるより結審となし二十五日判決言渡ある筈

西鮮繰綿移出

大連丸の復荷として神戸へ仕向けられたる繰綿五百梱(十萬斤價格五萬五千圓)は山田覺氏經營の西鮮繰綿工場製品にして今回が移出の嚆矢也

白山黒水

▲滿洲は寒い年末が押し迫つて誰れもかれも血眼で走り廻る今日このごろ▲お膝元の哈爾賓や西比利亞ではお正月なんぞそつちのけの大騷ぎ▲支那兵はドシ／＼哈爾賓に急派されて何時露兵と衝突するかも圖られぬ▲露兵の方でもナニ支那兵何かあらむと豪語してゐたが昨今のやうに吉林軍が砲兵から機關銃隊まで持ち出しては過激派も少々勝手が悪からう▲それに東清線も奉天、吉林、黑龍江三督軍で受持區域を定め飽まで條約により支那兵で保護するといふのだが孟督軍は此の際すつかり支那に於て頂戴したさうな、と言ひ出した▲頂戴いたすことは支那が驪がなくとも是れでも頂戴いたすやらうが却々面白くなつて來た▲それに支那側では先日北京から急行した何、胡中將首め哈爾賓の顯世澗氏も駆け付けて居る▲巳の年の年末はまるで竜頭蛇尾があべこべに行きさうだ(奉天)

[illegible] 年末に迫り[illegible]を働く虞あるより所轄黄州警察署にては署員變裝して去る十四日深夜[illegible]

[illegible] あり京城西四軒町生れの小林猿三(三〇)は前科三犯[illegible]同町[illegible]

[illegible] 崇仁面典農里の漢江岸にて屍體を發見せり

演藝案内

稻荷座　本町五丁目　博多笑劇松葉屋組一座　十二月二十一日より　▲一番　[illegible]　▲二番　數育劇　割當り　▲三番　餘興　交人手踊　▲四番　義俠の藝者　[illegible]

有樂館　[illegible]

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番　十二月二十一日より　忘年演藝會　京阪落語、曲、手踊、浪花節　[illegible]

黄金館　電話二六三七　[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三　十二月二十一日より新寫眞提供　[illegible]

本年新海苔は稀有之豐作品質良好價格日々下落此際特に勉強可致候引續御用命奉願候少數御注文は小包にて入荷仕候御用之節御名御注意願
東京市京橋區傳馬町一丁目
(念)山形屋窪田商店

歲暮贈答品
北海荒巻鮭
本場みかん
特製なら漬樽詰
外挙節物各種撰擇申候御用命願上候
京城旭町　川西商店　電話一三六七番

福運　貳萬圓當籤
[illegible]
神戸　鹽崎商會

釜山商店案内

御問屋　洋菓子洋酒　食料品
東京三河屋　英米直輸入　滿鮮代理店
釜山幸町　トミヤ商店

内外雜貨　冬物全部揃荷
近藤商店
釜山本町三丁目　電話長七六八番

雜貨卸問屋　明治屋本店

米穀調製器　收穫用器具　竹製消火器　販賣
南鮮發賣元　釜山本町　朝鮮勸農商會　地方特約店募集

内外雜貨卸問屋　長岡商店

洋酒罐詰卸商
釜山長手通　(東)あづまや商店　振替京城三九番

石材値上廣告
今般協議の結果販賣價格一割値上實行可致候條此段廣告候也
京城石材業者一同

今盛に愛用せらるゝ
ヒーロー印
防水
靴クリーム
本品は靴類雜貨店にあり

謹近火御見舞
[illegible]
三菱製鐵株式會社
兼二浦製鐵所

京城永樂町二丁目
電話二六〇八番
酒井婦人病院
院長　酒井一郎

◎本場みかん大賣出し◎
注意　本年は蜜柑大凶作のため他府縣蜜柑の石油箱入を紀州箱に詰め替へ紀州本場蜜柑と稱し販賣する奸商あり箱の蓋の上に(岩)の商號に御注意御買上願上候
但し一箱と雖も御商段に差上候御來店奉願上候
京城南米倉町市場
紀州本場蜜柑　京城賣捌所
果實問屋　(岩)岩城屋商會
振替京城一〇〇六番　電話八四二番

内科小兒科　外科
外科一般　婦人科　花柳病
京城黄金町二丁目(長谷川通角)
朝鮮病院　診療
(入院隨意)
(電話二八三七番)

謹告
例年の通り
忘年會新年宴會、御正月重詰其他御料理御好に應じ可申候
右不相變御用命仰付被下度候也
京城南山町一丁目三番地
會席御料理　松葉亭
電話二三五番

年の餅の御注文どし／＼願います
京城本町　大和軒
電話四八九番

眼科專門　入院隨意
京城明治町東拓横(電話二〇四四番)
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄
江頭富雄

左甚五郎

第百二十三席

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

等伯は喜右衛門方に食客をして居りましたが、月日の經つは早いもの早や其の年も暮れて翌年の春を迎へて今日は正月の六日、表は六日年越しと云ふので大層賑か、喜右衛門は一杯機嫌で表から戻つて參りまして 喜『おちか ち『オヤおかへんなさい 喜『あの先生は何うした ち『先生とは 喜『先生と云やア二階にお在なさる等伯先生に極つて居るじやアねエか ち『あゝ彫鑿さんかね 喜『何だ彫鑿さんてはち『何にね、家の者が皆な彫鑿さん〳〵と云ふもんだから、つい先生と云ふのを忘れて彫鑿さんと云つたんだよ 喜『若ね奴等は口が惡いから仕方がねエが、汝までそんな失禮なことを云ふ奴があるか、今こそあゝ遣つて二階に擔入をして居なさるが、今に屹度大した先生になる方だ。何うして居なさるか ち『今までね御酒を飲んで居たけれども、又二階に上つて寢て居ますよ 喜『能く寢なさる人だ、酔へばらつちやアゴロ〳〵寢て居なさるから、彫鑿だなぞと惡口を云はれるのも仕方がねエや。それは然うとおちか、少し困つたことが出來たんだ ち『困つたことゝは何に 喜『他事じやアねエが、心齋橋の近傳さんが奈良へ御詣りにお在なさるんで、俺に一緒に行つてくれろと被仰るんだ ち『あゝ近江屋の旦那様が 喜『ウム、俺も何の氣なしに結好でございます。暫く奈良の春日様へ御無沙汰をして居りますから、是非お供をいたしますと云つてしまつたんだ ち『宜いじやアないか、お前さんも常日頃行きたい〳〵と云つて居た處だからお供をしたら 喜『冗談じやアねエぜ。お前まで忘れてしまつちやア困るな、明日は寄合があるじやアねエか ち『あゝ然う〳〵妾も悉皆忘れてしまつた。お前さん寄合の方へは誰か代りを遣つたら宜いじやアありませんか 喜『それがよ、兎に角職人でも御城内へお出入をして居る親方手合ばかり。其の中へ家の若ね奴等なんぞをやつた節にやア、跡で俺が恥を掻くやうなことになるからな ち『それなら恰度宜い人がありますよ 喜『誰だ ち『ソレ二階の彫鑿さんさ 喜『又其處こを云やアがる ち『あの人なら押しも立派だし、お酒は隨分飲むけれども、他人と口を利くじやアなし、酔つたからつて騒ぎもしなければ別段喧嘩なぞもしない、あの人を遣つたら何うです。其の位の事にでも遣はなかつた節には本當に遣ひの無人なんだから 喜『桂此奴は巧ね所へ心附いた、それじやアーツ先生に行つて貰ふことにしやう』と其の頃大坂城内へお出入をして居る職人の親方達が毎年正月七日に初寄合をして種々相談などをいたします 喜『それじやア先生をお起申して來い ち『ハイと女房が二階へ上つて ち『先生鳥渡お起きなさい 等『イヤもう今日は此位にいたして置かう ち『アラ未だお酒のことを云つて居るよ、お酒ではありませんよ 等『イヤ是はお内儀さんか ち『今夫が歸つて來ましてね何だかお前さんに少し用があると云ふんです 等『あゝ親方がお歸りか、イヤそれは有難い直に參ろ。相手が代れば飲めるので ち『又飲む氣ですか、アレ危い 等『大丈夫〳〵……イヤ親方お歸り 喜『イヤ先生大層好い景氣ですね。貴下にお頼みがあるが一ツ肯いて頂きたい 等『俺の身體で出來ることなら何でも承知をしやう 喜『他事じやアありませんが明日私の名代に臘月の寄合に行つて頂きたいので、會費はもう先に拂つてありますから、構はず二階へ案内されて宜い所へ席にお附きなさい、そんな服装じやア叶けませんから私の著物で些け身體に合はないかも知れませんが、何うかそれで我慢をしてお出下さいまし 等『宜しい行きます

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話二一九〇番

多年經驗と完全なる設備
銃修繕
玉井銃砲工場
南山元町二、電話五三八番

十二月廿六日九星
舊十一月十二日 壬寅
十合 三碧 東 滿 佛滅

▲三碧 勃然とする事有り謹んで新事見合せ婦の方は吉 ▲四緑 好事魔出の日製居開業旅行名弘求職金借等吉 ▲五黄 [illegible] ▲六白 纏りのつかぬ事有り新事手控をなすべし ▲七赤 [illegible] 仲人等をせぬがよし ▲八白 吉無益の散財を防ぐべし ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黒 長し短しの [illegible] 一切のせわ事せぬがよし

大正式製麵機
實驗用大割引
本機は事業として最も有利二十種の製麵自在出す
説明書進呈
粉麥讃バリカン 枝切鋏稗蕎麦新式 農具其他金物 新元價表送呈す
京城本町 [illegible] 日本發明製麵會

流行のカゼ ネツと痰咳

▲家庭婦人のお心得

■風邪の心地が危險

寒くなるに連れてカゼが流行つて來ます。御承知の通りカゼは萬病の因、肺炎等の恐ろしい病を始め大概の重い病氣はカゼから始りまず『風邪の心地で打伏せしが……終に果敢なくなりにけり』などもよく昔から書いてある通りです。殊に皮膚に未だ充分な抵抗力の養はれてゐないお子供方は、今の時節一番注意を要します。

■お醫者に御相談

カゼを引かない用心には、體を鍛錬にし、殊に皮膚の抵抗力を強くするのが根本的の方法です。即ち冷水摩擦、深呼吸、日光浴、適宜の運動、寒いといつて火燵に厚着なぞせぬ事、其他種々ありますが、併し體の弱い質の人は却つてカゼを引く因になる事がありますから、よくお醫者に相談して徐々に始める樣にすべきです。

■子供のカゼの藥

さてカゼを引いた時の用心には、それがお子供(七歳以下の)であれば、藥も矢張子供專門のカゼ藥を用ひる方が安全でもあり又適當でもある事は申す迄もない事で、其れには『オイン』が一番に適した藥であります。『オイン』は世に信用の厚い大阪の丹平商會の製藥場で藥學者達が子供專門のカゼ藥として特に研究して製へた藥ですから世の母親方は大層喜ばれて常に家庭に備へられてゐます。

■大人のカゼの藥

それから大きい方々のカゼ藥には世に種々のカゼ藥といふものもありますが、矢張信用の厚い藥舗だけあつて、丹平商會のアンチピリン丸が一番有効に、工合よく出來てゐます。これ程きゝめの判然くなく、そして其れが少しも氣持惡くなく、工合よくきくカゼ藥は外にはありません。

■痰咳に苦しむ時

それからカゼに咳や痰が伴ひ、胸苦しい樣な時には、呼吸器散又は呼吸器丸といふ、矢張丹平商會製藥工場の藥學者の研究で出來た藥が有効として知られてゐます。此藥の痰を切り咳を鎭める効は實に鮮かなものです。これからは夜中からカゼで發熱する樣な事もある事ですから、是等の良い藥を常に家庭に備へて置くと安心です。

(藥價オイン十錢包、二十錢包▲アンチピリン丸十錢、二十五錢、五十錢△呼吸器散、丸十錢、二十五錢、五十錢△各藥店にあり)

病人と小兒の必要品
■輕便新案ね小便袋■
ねおき、たちすわり、少しも差支なし小便は袋の外へ洩れざれば衛生的、衣服を汚さず洗濯の世話なく常に清潔、舶來のゴム製なれば永久使用に堪ふ故に病人や小兒のある家庭に必ず備へよ
男女の別あり
御指定を乞ふ
大人用一圓八十錢 小兒用一圓五十錢
中西ゴム商會

健胃消化錠
ゴルフ
タカヂアスターゼを主剤とせる胃腸の新製劑なり
廿錠 一圓
東京室町 [illegible]

りん病
急性慢性を問はず [illegible]
七日分一圓 十四日分一圓 [illegible]
京城黄金町三丁目
山田文殊堂藥房

髪は手入
髪の良い人には 悪い人
ホーカー美髪液

品質が物言ふ世の中!
日本の代表的歯磨たる
ライオン歯磨の
すばらしい賣行は、
よく此理にあてはまる。

ライオン歯磨 ライオン石鹸
本舗 小林富次郎

京城日報

二十五日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

仁川期米

△二十四日後場 中限十九圓七十錢より六十三錢先五十六錢より大阪路高を受け先六十錢あり結局五十九錢と手堅き成

平均値段 一節 十九圓五十六錢 二節 十九圓五十八錢 三節 十九圓五十八錢 四節 十九圓五十九錢

支那漫遊

蘇峰生

濟南

予は十一月二十七日より廿九日迄全き三日を、山東の省府濟南に送り。方さに今卅日の朝を以て出發し、博山縣を經し、濰縣に立ち寄り、青島に赴かんとす。予が九月十五日、東京を出でゝ以來、今十一月三十日に到る迄、旅行の九十七八分は已に了れり。剩す所唯だ二三分のみ。然も濟南に落ち附きたるも、豈に徒爾ならん哉。予等が山東省を以て、旅行の打止めとなすに就ては、多少の掛念なきにあらざりし也。そは山東の風も、寒さを與ふれば也。特に上海に於て、支那漫遊客の青島、若しくは濟南經由者と落ち合ひ、其の何れも嚴寒に中られたるを聞き、愈々覺悟をなして來れり。然るに思ひきや、當時の嚴寒は逆轉し、曲阜、泰山さへも、殆んど何の苦もなく、濟南三日間、毎日の小春の天氣にて、殆んど外套を要せず。夜は明月晝の如く、出遊を妨げず。知らず予等は如何なる因緣あれば、斯く迄天氣都合の善かりしかを、自から疑はざるを得ず。乃ち此の如き好天氣の下に、愉快なる三日を經過せり。

濟南は山東省の首都にして、人口二十萬を稱す。獨逸山東經營に就ては、其の要衝たりしや論なし。津浦線に於て、北は天津、北京、南は南京、上海と連絡し、山東鐵道に於て、青島に通じ、海を隔てゝ大連に接す。而して青島占領後、日本人の此地に入り込める者、約三千人、若し鐵道沿線にある者を加へば、五千人に下らざる可しと云ふ。但だ此中の過半は、所謂る靑錢商賈、若しくは其の手先にして、支那人に受けの惡しきを勿論也。靑錢の濟南を經て輸出せられたるもの、約十萬噸、價格四千萬圓に上ると云ふ。果して然るや否やを知らざるも、其の盛況想ふ可し。然も今日は此の取引も、已に退潮に屬し、今後は正經、著實の業務に從ふ者、愈よ增加す可く。乃ち今日は日本人の增殖よりも、寧ろ其の品質改善の時期なるが如し。而して其の主なる事業は、云ふ迄もなく鑛業也。山東より□□にかけて、一大鑛床の伏在する事は、何人も熟知の事實也。問題は如何にして之を利用するかにあるのみ。

濟南の新聞は、毎日民政問題に就き、極めて悲憤慷慨の論調を以て、日本政府、及び日本を攻撃しつゝあり。彼等曰く、青島に民政を布くは、まだしもの事。之を鐵道沿線に及ぼすに至りては、是れ實に支那の主權を侵蝕するなりと。予は此地の支那官憲に面會せり。然も彼等は此事に就て、直接觸るゝ所なく、唯だ日支親善の極まり文句を語りしのみ。然も彼等が、北京政府に密電を發して、其の不可を極論したるは、事實也。青島占領以來、日本の山東に於ける勢力は、頗る增進しつゝあり。されど日本人が山東に於て、人氣の良好ならざるも、亦た掩ふ可らざる事實也。是れ日支人双方の誤解による乎、將た他に理由ある乎。何れにしても眞に日本の威信を、我が官民は一大考慮を要す。而して此れと同時に、物質上に於ける一大要件は、山東鐵道を延長して、京漢鐵道に接續せしむるにある也。此なければ山東鐵道は、殆んど袋の鼠たるに止まる也。

濟南と山水

濟南の大觀は、其の南方なる千佛山に上りて、始めて之を盡くす可し。千佛山は即ち歷山也。舜耕歷山の歷山とは、此の野に耕したりとは、此の山下の野也。其の千佛山と稱するは、隋の開皇年間、山中の巖洞に、佛像を彫刻したるが爲め也。今猶ほ隋開皇の文字ある殘碑あり。予等は山腹の寺樓に倚りて、濟南を一覽し、天色さへも黃ならしめつゝある北方黃河の濁流を眺め、左氏傳に於て、齊晉の戰爭に緣ある、華不注山の孤峯斗起するを望み、鵲山の峯の如きを見、李于鱗が『坐大觀中懸片華。望來城上出双河。』片華は華不注也、双河は黃河と、小清河と、濟南を繞る小清河也。濟南は水の都也。七十二泉と稱す。隨處に泉湧き出づる也。其の最も顯はれたるは、趵突泉也。池中より三泉湧き出で、高さ尺に盈つ。若しくは大宮の淺間神社の池、若しくは熊本水前寺の池に似たり。乾隆帝は、

濟南城南古觀奕。別開仙境非塵市。致我清輝兩度臨。却爲突泉三寶美。

と詠じたるも、今や此の池を中心として、殆んど淺草の奥山の如く、俗境は恐ろか、俗中の大俗境に化しつゝあり。されど硝水の美は、依然たり。而して其の諸泉の匯る所、大明湖と爲す。湖は城西北隅にあり。予等は鵲華橋より畫舫にて湖に泛べり。元遺山の遊記に曰く、

大明湖其大、府城三之一、秋荷方盛、紅緑如繡、令人渺然有吳兒洲渚之想。

と。然も今や滿目の枯荷は、衰殘折股に接し、唯だ漁人の小蝦を撈ひ、小魚を網するあるのみ。湖心の歷下亭に遊ぶ。是れ杜少陵が、李邕等と與に詩を賦したる、勝蹟也。偶ま亭邊老柳の下に、婦人の洗濯するあり。予等は柳根に舫を繫ぎ、低徊之を久うせり。

十里枯荷接衰蘆。湖堤殘柳幾人家。女兒何管古賢跡。歷下亭邊坐浣紗。

予は京漢鐵道に於て、黃河鐵道を經過したれば、黃河其物の概念を得可く、濟南より濼口に赴けり。道は小清河に副うて行く。小清河は、濟南が渤海に通ずる一純道なる。其の河幅は一千呎、深さ十呎より二十五呎あり。其の上流に於ては、河幅百呎、深さ四呎に過ぎず。而して濟南城壁附近の支流に於ては、寧ろ大なる溝渠と云ふ可きに過ぎざるも、此の河身に溢るゝばかりの大小の運送船、塡充しつゝあり。乃ち巨大なる鴨綠江材の如きも、此れより運搬せらる。而して其の船は、眞中にて組合せ、艀場に到れば、之を解きて、二個の短舟となす、頗る重法なる工夫あり。黃河は城北四哩にあり。予等は山東楽や、其の白茎一尺餘もある葱畑を貫き、水滸傳中の梁たる楊柳の村、石碇の家を過ぎ、長城の如き黃河の外堤を横斷して、更に數町の低地を行き、黃河の涘にして、河堤に上れり。濼口は黃河の涘にして、其の上流なる河南の開封府との、物資交通の盛處也。然も其の下流は塞りて、運搬の便あるなし。元來黃河の流域は、屢ば變更せられ、或は北し、或は南す。而して其の潰流横決の害は、山法師、鴨河の類にあらず。黃河は乃ち揚子江が福神なれば、黃河は貧乏神と云ふも、誇評にあらず。されど支那上古の文明は、此の流域を傳うて、出で來りしもの也。而して若し淺深、改修、其の道を得ば、水運の便、灌漑の利、更らに期す可らざるにあらず。予は黃河の大堤上、老楊の下に立ち、遥かに河の大鐵橋を望み、靜かに河と揚子江とを對照して、此の兩江は二個の巨人の如く、其の特性あるを、認識せざらんとする能はず。要するに黃河は野獸の如く狎る可らず。揚子江は家畜の如く親しむ可し。親しむ可し。狎る可らず。故に黃河には堤防なし。揚子江には幾重の堤防を設く。而して均しく濁水なるも、黃河の水は、味噌汁の如く、揚子江の水は、赤茄子汁の如し。蓋し黃河の水は、濁りながらも、聊か赤味を帶ぶ。而して水と泥とが、殆んど別々に流れ行くものに似たり。

長橋萬尺跨奔波。堤上亞楊半落柯。千載黃河無定跡。華山仍舊秀容多。

華山は華不注山也。黃河の右岸にあり、今や黃河は其前を曲流して流る。

大正六年十二月一日午前六時 山東省山東和公司寄宿舍の一室に於て

朝鮮古墳の變遷（二十三）

八木奘三郎

（丙）遺物の種類

樂浪、帶方時代の古墳は大抵發掘し盡されしに依り、今日其遺物の存する類は稀有なり、然れども當時の古墳は其數甚だ多きが故に假りに之を發見することを有りとせば、今其種類を列擧せんに、黃海道黑橋の古墳よりは銅劍、銅鉾、五銖錢其他の銅器を出せしこと有り、又大同面石巖洞の古墳よりは刀劍、矛戟、小の鏡鑑、腕輪、銅鋺、轡輪の金具、五銖錢、陶器即ち甕、瓶、鉢、堤瓶等を出し、又大同江面の他の古墳よりは鉛錢、轡輪金具、彈機附の弩に類する精巧品（以上二）劍頭あらんかと思はるゝ銅器、陶器即ち瓶、甕、皿、匙の類を出し（以上三）又他の古墳よりは鏡鑑、鍍金々具、金銅の轡輪に『王』字を刻せしもの、陶器等を出し（以上三）又他の古墳は刀斧、銅鏃、陶器壺等を出し、又最近に發掘せし古墳よりは玉璧、劍鼻、虎符に類するもの、石印、銅甑、釜、博山香爐、純金帶金具、鏡鑑、箭具、玉類、漆器類以下非常に多數の品を出だせり、今是等の凡てに就て其詳細を記する暇なきも、此中の銅劍、鏡鑑等は頗る時代關係を知るに必要なれば左に其要點を記述す可し。

●銅劍、銅鉾● 此二者は多く日本九州の西部即ち兩筑の間に發見さるゝを以て古く所謂筑紫鉾の稱あり、而して支那の銅鉾、銅劍等の形狀異なるが爲めに二者の連絡を識することは能はざりし、然るに朝鮮發見の銅劍は日本品の小形に屬する分に類するによりて、支那との關係は今や一同時の勢に近づけり、而も日本の銅劍銅鉾は其年代不明なりしも、予が先年筑前國筑紫郡岡本及び博多聖福寺等にて見たる銅鉾は支那の鏡鑑の相伴ふものあり、而して右鏡の銘の字體に因て考ふれば、寧ろ六朝初期の觀あり、蓋し其年代の推定を得しが、朝鮮の分も之と相似たれば、蓋し支那古代に於ける分と大差なかる可し、漢以後の兵器は皆な鐵製なりしが、鐵製品次第に加はり、斯くて殆んど其跡を絶ちしも、六朝頃に至りて猶ほ齋來の惰力と因襲の久しきとに依りて銅製利器を廢せざりしならん、既に內地の實物の時代が大抵決定せし以上は、假令朝鮮の分が少しく古しとするも、猶ほ淺く以前に溯ること能はざれば、六朝の初期とは相去ること僅に一步のみ、而して此品は樂浪、帶方に限らず京畿道の南東部及び全羅、江原の二道よりも出るは面白き傾向にて、右は當時漢族の手より鮮人種の間に輸入せられしならんが、江原道の如きは土中より其鑄型を出すに依り、鮮族自身に鑄造せし分も確に存在せしが如し

○獵虎曲○ 本田芳洲

猛虎嘯一聲○千山轟雷霆○壯士氣更凜○清寒先倒酒一瓶○眼四方逐八方○手援獵銃沿巖屏○金毛白額忽來迫○電目射人耿千星○猛然且示逆襲勢○危機一髮嚇難停○好是一發續數發○彈丸命中夜風腥○咆哮數回翻作斃○月照殘骸樹梢青○

どうして

布施生譯 二十四

どうして何時も武烈氏を一山だけ先に立たせて彼是一時間ばかりと云ふもの慌しい旅を續けたが、其うち圓楠は何と云ふ事は無くも旅の終に近づいた心地がした。

そして今しも昇りかけてゐた阪路を急いで驅け上つて其頂上から見渡すと果して眼下に一村展開して唯見る山又山の重つた盆の底のやうな土地に、白壁の家がちよつぽりほんの五六軒肩摩擦はせたやうに集つて、それでも感心に此淋しい山地の賑やかしになつてゐる。

不圖氣がつくと武烈氏は丁度圓楠の眼の下になる阪路に立停つてゐる。おや〳〵短銃を檢べてゐる。圓楠は俘手として思はず手綱を控へたが、しかし考へてみると之は何も自分と關係のある事ではあるまい。だつて武烈氏は唯の一度も肥後を振かへつてみるで無く、一心にそこから右に當つて氣味惡く突立つた一軒家の方を睨めてゐる。家は三叉になつた道の正面平らな處にあつた。木道ながら造作はどうやら旅籠らしく思はれる。

しかし烟筒からは一條の煙も騰らず窓や戸口からも人影らしいものは覗きもしない。寂然とした其の周匝には松の樹が一本しよんぼりと風に戰へてゐるだけで生氣のない家の樣が異樣に人の心を惹く。武烈氏も餘りの淋しさに氣付いたものであらう、急がしく短銃を內懷に收めると共に馬を早めて進み寄つた。圓楠は咄嗟の間に思付いて馬から飛降り熊笹の茂みに身を隠して武烈氏の樣子を窺つてゐると、しかしもう覺悟は極めたらしく、武烈氏は何だか傍ひなさそうに恐氣もなく家の方に馬を打たせた。圓楠は眼を轉じてもう一度家を眺めた。よく見ると家は思つたよりも荒方がひどく戸口も窓も雨に打たれ風に剝げて枝葉の取れた松の樹もよい合格になつてゐる。圓楠は昔譚の妖怪屋敷を憶出して思はず變な氣持になつた。武烈氏の方はそんな氣は起らぬらしく戸口まで馬乘寄せて案內を請ふた。しかし家內からは何の應答の聲もしない。武烈氏は額に八の字を刻んで今度は戸口に手をかけた。しかし戸は鍵が懸つてゐる。武烈氏は急がしく家を一渡り眺渡して今度は裏の方へ廻つた。裏口までは塀も何もない。武烈氏は直に裏口まで馬乘寄せたが、しかし其處も閉つてゐたらしく本意ない顔して、もう一度表へ廻つてきた。そして肚癒まぎれの力任せにがた〳〵と戸口を揺つてみたが造作は案外岩乘で固より何の手答もない。愈々駄目と斷念たらしく武烈氏は一足後に引いてもう一度ぢろりと其樣を眺め渡した上今度は馬の頭を廻して未練もなく齊來た路へ踵つて往つた。

本紙定價 一ヶ月金五十錢

廣告料金

發行兼編輯人 奥田直□

印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話 編輯用 二六四番 營業用 二六五番 振替貯金口座京城三〇〇〇番

年末旅行の御便利を圖り本月二十八日二十九日兩日限り

南大門大田間 臨時旅客列車運轉

南大門發午前九、二〇 大田着午後一、二〇

大田發午後一、五〇 南大門着午後七、一〇

南大門大田間列車は內地方面行乘客多數にて車內混雜致すべき見込に付大田迄の御方は前記臨時列車に御乘車被下度候

南滿洲鐵道株式會社京城管理局

婦女界新春特別號 本日出來

改良を要する中流の生活

婦人に必要な自覺と準備

中流の家計は斯くせよ 改良結婚法

主婦は何時も正月の心持

雜煮は理想的の食物

お正月前に罹りやすい小兒病

胃腸病の病氣を看護した經驗

愛兒の病氣を看護した經驗

我が家の喜び

主婦の讀物 糸左近編

本誌獨創小說 樂天婦人……岡本一平

本誌特派旅行 伊勢參宮

本誌獨占小說 產聲……大倉桃郎

歷史小說 花の御所……笹川臨風

家庭小說 世間 柳川春葉作

本號特價金廿五錢 郵税附錄共金三錢五厘 半年税共一圓十八錢

東京牛込區加賀町 婦女界社 振替二〇二八三番

名人レコード

一、長唄 吉原雀 芳村孝次郎 杵屋新右衛門

一、新內 藤巢毛赤坂並木 富士松加賀太夫

一、常磐津 乘合船

一、清元 北州

一、義太夫 千兩幟

一、二天先代萩

▼藝術座劇「生ける屍」 ▼唱歌「さすらひの唄」 松井須磨子

▼活動 凸坊コロップの巻 オーケストラ

▼小唄 二上り新內

▼端唄 惚れて通ふ 梅は咲いたか 橘家圓若

▼流行小唄 大正七年 やつこらやのや 大阪 菊蝶

▼芝居 十二ヶ月（正月の巻 二月の巻）

▼生田流箏曲

▼都山流尺八

▼蓄音器 驚印兩面盤 定價壹枚 金壹圓五拾錢の品 五拾錢引賣出し

（果して、大好評、品切のなき內御注文を乞ふ）

朝鮮京城本町二丁目廿九番地 株式會社日本蓄音器商會 電話二二八三番

新年のニッポノホン（鷲印音譜）賣出し申候

◎本科講義錄 校外生、本科講習生用

電機學校

豫科講義錄 豫科講習生用

懸賞 規定

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 醸造元 富安本店

京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店

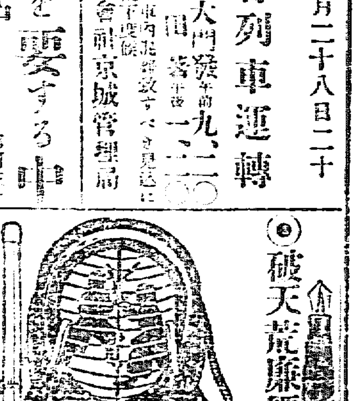
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ營ミ貸付切ニ取扱申候

朝鮮銀行

支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、群山、木浦、馬山、鎮南浦

出張所 長春、開原、四平街

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候



破天荒廉價提供 モーリス 陸海軍御用

○陸軍劍術教範制式 ○銃劍術防具 ○警察、學校御用 ○擊劍術防具

製造販賣 軍用機會社

○日露密約と米國

華盛頓官邊は今回露都にて公表されたる秘密條約に就き何等疑ふる處なし自發的陳述が多分締結國より來る可きを一般期待し居れるを以て政府は特に說明を求めんと努むる事無かる可し當地官憲は條約條項を精讀したる結果として此の條約の一般目的は幾分現存の日英條約と此の主旨を同じくする所あり且つ此の條約は支那が第三國に依り其の利源を開拓せらるゝを防がんとするものにて特に英米の利源開拓に對して締結せられたるものに非ずとの意見を有するものゝ如し（華盛頓電報）

東露の形勢

▲東清鐵道管理準備

△支那政府の企圖

北京政府は愈々中東鐵道總署を設け東清鐵道の保護管理をなす由にて斯く數には最も滿蒙の事情に通せる前黑龍督軍兼省長たりし畢桂芳氏任命さるべし尤も東清鐵道は目下ホルワット長官の治轄に屬し鐵道守備隊のある以上今支那が之を管理せんとするも到底行はるべからず即ち右は若し勞兵會が鐵道を占領せんとする場合支那政府に於て之を管理するの準備に外ならざらんと（北京特電）

▲支那兵哈市增派

哈爾賓に出兵せし支那軍隊は更に五千五百名を增加して一萬人となすべし（哈爾賓電報）

○露國內亂と獨逸

ブレスト、リトウスクにて傳へらるゝ所に依れば獨逸は講和成立後レーニン政府の爲めに南露、ウクライナ其他西比利亞の內亂を鎭壓すべく過激派を援助すべしと（紐育電報）

○露國代表者召喚

露國講和條件の前提たる非併合、非賠償主義を獨逸に於て拒絕せし爲めブレストリトウスクに出張したる露國代表者は召喚されたり（倫敦電報）

○兩督軍出兵影響

山東督軍張懷芝氏の東路軍直隸督軍曹錕氏の西路軍は既に出兵に着手し東路軍は安武軍を先鋒とし續々浦口、徐州に西路軍は保定軍の一部を漢口に何れも出動せしめつゝあるが是が爲め津浦、京漢兩鐵道の列車貨物車を徴發せるを以て京奉鐵道より多數の貨車を綜合せ又石炭を臨時徴發した爲め過去二箇月來商業上の貨物停滯し一般に非常の迷惑を感ぜる折柄とて忽ち物資の缺乏を來し天津、漢口、南京、上海等の商業益々困難に陷り殊に石炭の不足は天津に多大の影響を與へたれば同地領事團は曹錕に向け其の事情を陳述する處ありたり（北京特電）

○龍濟光軍捕はる

龍濟光氏の兵を乘せ雷州半島に上陸せんとせる民船十隻廣東獨立海軍の爲め捕獲されたり（上海特電）

○獨探米人の拘束

米國人にして支那名を李佳白と稱しつゝあるギルバート、リードは豫て獨探として攻撃せられつゝあるものなるが今回突然米國公使館內に拘束されたり（北京特電）

○康有爲青島行

康有爲氏は二十一日天津より青島に向へり（北京電報）

○拓殖調查會

拓殖調查會は二十四日午前十時內閣にて開催し藤委員長缺席の外有松副委員長以下列席の上

▲米穀取引所設置の件

に就き審議する處あり午後三時散會せり（東京特電）

○各黨總會

▲政友會 二十四日午後一時より本部にて議員總會を開き原總裁、山本、野田、中橋の三總務、元田、岡崎、杉田其の他貴衆兩院所屬議員等百八十餘名出席し橫田幹事長の挨拶あり大岡議長席に就き其れより總務報告あり原總裁より院內役員を指名し會長の發聲にて陛下萬歲を三唱し二時半散會せり

▲憲政會 二十四日午後二時より本部にて議員總會を開き加藤總裁、各幹部議員百餘名出席藤澤幾之輔氏會長席に就き富田幹事長より開會挨拶あり藤澤氏議長席に就き議員總會の結果報告、院內總務三名幹事九名の選擧、代議士百二副會長選擧等あり午後四時散會せり

▲新政會 二十四日午後二時より帝國ホテルにて總會を開く阪本金彌氏座長席に就き秋田幹事より特別議會閉會後の庶務會計報告あり議員異動報告あり最近金杉氏外五氏の脫會を見たるも二十二日再び復會したる始末に就き說明あり役員選擧の後午後三時散會せり

□朝鮮王室令 審議 元老會議內容

二十二日開かれたる元老會議の一要件は豫て宮內省にて調査中なりし朝鮮王室令の成案に就き特に元老の議に附せられたるものなりと（東京特電）

○金杉氏等復會

（東京特電） 新政會を脫會したる金杉英五郎、若尾璋八、吉村鐵之助、越山太刀三郎、吉田三郎衛門の五氏は廿三日再び同會に復歸したり（東京電報）

○平井博士通過

支那交通部顧問平井晴二郎博士は二十四日午後七時二十分通過東京に向け直行せり『支那目下の政局は混沌として五里霧中なり東京には一月十日頃迄滯在再び渡支す可き豫定なり』と語り居れり（安東縣特電）

○羅國中尉東上

重大任務を帶びて

羅馬尼國陸軍中尉アムステッドランク氏は或る重大なる使命を帶びて東京に向け浦潮經由の途次二十四日午後七時二十分通過南行せるが使命の內容に就きては一切口を緘して語らず（安東縣特電）

○支那鐵道六千哩に達す

平井博士談

奉天特電既電の如く支那交通部顧問平井博士は二十三日夜北京より來奉二十四日朝安奉線にて東上の途に就けるが其談に曰く「北京の政局は南方討伐に決せりと云ひ又妥協に決せりと稱し一向に要領を得ず、余は今期議會の傍聽旁々東京に向ふものにて來年一月中には又復北京へ引返す可し支那の鐵道も東清線を合せて六千哩に達し稍日本の總哩數と匹敵せり何分土地廣く敷設は容易なる可けれど目下の處歐洲戰亂と云ひ支那の混亂と云ひ鐵道敷設などは休止の體なり」

○歲晚の財界

好調裡に經過

歲末愈切迫し京城市中の大節季氣分は益々濃密を加へ來れるが財界の大勢は既報の如く好況の裡に經過し何等不祥の出來事を見受けず市中銀行の金利は若干引締りの傾向あるも鮮銀の貸出金利何等變動なきためさしたる變化はなからん更に各町歲暮賣出しは判任官以下臨時手當の支給各銀行會社の賞與加俸手當支給等のため豫想外に好果を收め居れり

○京城學校組合會

京城學校組合會は既記の如く廿四日午後二時半より開會出席議員十二名にして直ちに日程に入り議案第一號並新品に關する件算更正及び追加に關する件を審議す右豫算更正案の內容は小學校教室中石炭ストーブ用燃料其の價格騰貴に因り從來に比し倍額以上の昂騰を示し既定豫算にては到底經理し難きに由り右追加豫算して一千七十二圓を計上、之に因る本年度の石炭及び燃料代は合計六千二百四十五圓に[illegible]百八十三圓となるを以て本追加豫算に於て石炭代及び石炭運搬費に三千百七十五圓四千[illegible]の補正を要するにより之を賄ふ財源は共に此の財源百九十七圓を以て五百五十九圓の補足をなすものにして[illegible]を孰れも追加更正とすると云ふ原事務官一應之が說明を爲し豫算上の前後に於ける炭價の差を漸及び更正豫算に於て少し度しと述ぶ第一號議案中にけ

▲教員の旅費支給に關する件を附議せし事とて二三議員の質問あり、田中議員は「本案を附議する上に必要なり」と言ふ前提にて先に執行せし組合會計出納檢査の報告を爲し旅費流用の事を論せしが結局原案通り可決を見、引續き第二號議案（別項）減免に關する件を附議せしが讀會省略滿場異議なく原案通り即決したり之れにて當日の議案全部を議了し直ちに田中議員提出、小杉、深水、大石、[illegible]の贊成に成る

▲建議案を附議す其內容は[illegible]

○秋鯖米國輸出

[illegible]府水產課にては今春農商務省の手を經てローヤル、ファイシェコンニーに鯖鹽漬の試驗輸出を依頼せしに頗る好評を博したるを以て更に秋鯖鹽漬五十樽を輸出し試賣せんと過般來長崎[illegible]道中の處今回全部の製造を終りたるを以て今明日中神戸に向け發送すべし因に今回の鯖は[illegible]樽入五十個にして[illegible]なりと

○移民審查畢了

東拓の第一回移民承諾審查は京城本店及び下の[illegible]出張所に於て之れを進め既に第一種第二種地主移民五十戸は承諾了を了し第二種自作民は約六百戸の移住承諾者を[illegible]發したり尙は承諾[illegible]の分若干あれども之は希望地其他に付き會社と移民希望者間の交涉纏まらざるためにて大體に於て結了の形なり

○平井博士通過

支那交通部顧問工學博士平井晴二郎氏は年末年始の休暇を利用しの爲め內地に向ふ途二十五日午前八時南大門驛着同四十分發列車にて東上す

○京商役員認可

京城商業會議所にては過般役員選擧の件を監督官廳に認可申請中の處此の程認可の指令ありたりと

○朝鮮鑛業會誌發行

本年九月三十日創立を見たる朝鮮鑛業會は其の後京城府山町二丁目六鑛業株式會社內に事務所を置き諸般準備中なりしが愈々三十一日[illegible]より[illegible]に於て會誌第一號を發刊する事となり一般に頒布すべく明年一月一日以後[illegible]四六倍判二十頁にて第一號は紙數百四十頁同誌の賣價は一部[illegible]にして事務所の電話は[illegible]番なり

支那見聞談

内藤湖南博士講演の梗概 其三

一體支那と言ふ國は武力解決の出來ない所であります、南京では李純と言ふ人に面會しましたが其の話に據ると支那が民國になつてから朝の時代に比較して何一つとして改善若しくは進步の域に進んだものがないと言つて居た、なるほど日本では維新前と維新後とを比較して見ますと既に舊幕の者あり明治の所に二つの大なる相異なる結果を齎らして居る事を確認するのであります即ち一は人民の區別の撤廢された事で人民が士族と同樣の權利待遇を受くる事が出來る樣になつた事であります、[illegible]百姓が著しく進步を示したと言ふ事も其の一つで今日の如き異常な長足の進步發達を促したのであります即ち權利とか利益とか云ふ方面から觀察して支那は此の二大利得があつたに拘らず支那では後ら政を施いても何等の利益を發見する所に改まつた事は出來ません元來支那人は權利を何も種らぬやうで其の性質として區別を立てゝ居ないやうである者が其の代り新らしい權利と言ふやうなものも附與せられず而かも亂に苦むと云ふ有樣です此度の亂の如きに在ては湖南方は矢張り湖南人が之れを治め而かも其の兵は北方の人から成つて居たのでありますところがドシ〳〵南軍が侵入して來たさうなると北來支那の兵は將僚として糧食に依ると言つた風で其の行先も盛んに徴發するのでありまする兵糧迄擄いで行かぬ全く掠奪に懸るのでありますが其が最後に長沙等は軍亂の變に依る沙汰は甚しかつたと言ひます一體長沙邊りは長髮賊の亂の時にも戰禍は蒙つて居ない先般革命亂の時にも其の餘沫は長沙迄及ばなかつたけれど今度は其の蹂躪に遭つた即ち廣西の兵に依つて其の街を荒されて居るのであつて漢口の如きは殊に激しく爭亂の慘害を受けて居る北軍が這入つて徴發し南軍が侵入して徴發と云ふ有樣で土地の商賣人等は勿論一般に非常な恐慌を蒙つて居るやうです、而かも此戰爭の餘沫慘禍と言ふものは北軍が逃げる所に於て甚だしいやうであります斯んな關係からして漢口は常に平和論を把持して居る譯です豫ては日本人に對し排日的態度のある支那人も斯んな時になると日本の守備隊に應援を求め度いと言ふやうな希望を懷いて居ました是れ等は長江一帶に最も頻出した現象で今期の爭亂の慘害は一帶の人民は最も亂に懲りて居るので一時の現象たるを免れないでせうけれど斯んな狀態は勿論萬事民國成立以來其の人民に良い事を與へた事のない諸般の設備が少しも改善されて居ないと云ふ事は已に爭はれぬ事實と言はねばなりません

百面百種

[illegible]山博士は斯界に珍らしい人であつたが有名な話は先帝陛下御大患の際に召に應じて早速參內し御拜診申上げた際▲御脈[illegible]音調御微弱にて[illegible]御腹部に耳を當てゝ[illegible]然るに女官等は[illegible]許さないので[illegible]博士は接觸して[illegible]事は豫て知られた通りで▲[illegible]病を知悉する事な[illegible]一般に[illegible]して御拜診申上げたので[illegible]何れも博士の意氣を[illegible]ものは[illegible]て行く人[illegible]

[illegible]少年時代は非常な負けぬ氣で片破れの時に抑し通し十一歲の時平田篤胤翁の子息平田鐵胤氏の養子となり[illegible]▲其れを豫て相談して捨松と命けられた、夕前をも捨松と云ふ人が拾つて[illegible]なつたが間もなく離緣となつた▲[illegible]時『行末は雲井を凌ぐ櫻木の花咲く頃を待ちて見よ人』と云ふ歌一首を殘して平田家を去つた▲[illegible]して大望を懷き僅か一圓を懷中して上京を企て途中で引つ返し徒步で輕井澤迄來ると襄中餘すところ僅か五錢となつた▲空腹の餘り碓氷峠にさしかゝる途中茶店で食ひ逃げをやつた▲後に博士が輕井澤に別莊を建てたのも其の時の記念で謝罪の意味で其の茶店を度々訪問したものだ▲博士は字を書く事が嫌ひであつたが一生に唯一度額を書いた事がある▲其れは博士が香港でペストに罹つた時北里、青山の兩博士が[illegible]に於て奈良の野村と云ふ人が[illegible]離をとつて快復を祈願したのに酬いたのが其れだ▲橫額に『慢招損謙受益』と六字を太書し號がないのでで『捫虱居士』としようとし已に筆を下さんとした時▲居合せた森鷗外博士が『捫虱居士』がよからうと注意し其の通り署名したのが今で天下一品である相な

法人登記公告
[illegible]

資本金壹百萬圓
株式會社 漢湖農工銀行
支配人 [illegible]
不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店 公州、[illegible]
所在地 (清州、忠州、論山、鐵原、[illegible])
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

防寒靴賣出し
[illegible]

羅紗 製
モスリン、ゴム布、[illegible]
日東商會

貴金屬品 其他新著 時計各種
十二月二十一日まで 平素の御愛顧に酬ゐる爲め 割引販賣仕候
仁川本町 糸岐商店 電話三七〇番 振替京城七一一番

最新刊
[illegible]

大陸書房 定價
大阪屋號

因 蘇峰學人新著
杜甫と彌耳敦
定價六圓 [illegible]
[illegible]
賣捌所 京城日報社代理部

優等淸酒 一鶴
發賣元 本莊酒店 電話六五四

イケダ小兒病內科醫院 京城[illegible] 電話三〇〇番

醫化學器械 北島藥店 北島藥店支店

藥種賣藥卸商

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、[illegible] 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 朝日石鹼製造所

內科 胃腸病 診察 午後九時迄
石川醫院 電話二三七九[illegible]

本年水揚高

本年下半期の水揚高總計は僅に四十五萬圓に達すべく之を例年の下半期の總額廿四萬餘圓に對比すれば[illegible]例年度の總水揚高は百萬圓に達するに[illegible]べし斯の如き勢を以て進まば來年以來日に月に內地トロール船の近海運搬船に引上げ改造減退し今や僅かに七八隻の小數となれり[illegible]市價の昂騰を示し其外著しきは[illegible]當市場の如きは水揚總額の半額は內地各市場に仕向けらるゝを以て[illegible]

冬宮乘取の一幕

（一）暗黑の第一日目
露暦十月二十五日は「理勢一揆」か
冬宮攻撃の實況を目撃したる日本青年

朝鮮銀行員　埜坂正三　手記

露都所在日露協會日本部商品見本陳列所主任たりし埜坂正三氏は露國革命以來非常の打撃を蒙り陳列商品の止むなきに至りたるを以て今回露國國營銀行に勤務する事となりたるが同氏は露都在留中露暦十月二十五日（我十一月七日）過激派がケレンスキー政府を轉覆として冬宮包圍の際在露都參事中に紛れ込んで當時の實況を親しく目擊したる由にて其の手記を示したるを以て茲に掲載す

露暦十月二十五日は露國の政治も道德も宗教も社會組織も有ゆる總てのものが暗愚の民、兇暴の罪人、無理想の煽動家に誤られたる社會改良家の手に依つて根柢から破壞され盡されんとする第一幕目の日であつた。曖昧なる民衆の暴力が光榮ある世界近世政治史に一大汚點を印した惡日であつた、レーニン一派の新聞紙に依つて傳へられた

冬宮乘取りの光景を其のままに信ずるものは只單にレーニンの主義宣傳がケレンスキー内閣を覆す處の一大勢力となつたものとのみ信じて居るだらう、從つて冬宮攻擊が露國の將來に如何なる暗示を與へたるかに就いては世間餘りに無關心であるが當時暴行！掠奪！不倫！虐殺！など戰慄すべき罪惡の勝利を目擊した唯一人の日本人なる私は此時既に露國が那落の底へつき墜された事を直覺して、冬宮陷落の日を

暴理勢一揆の
亡狀の序幕が切つて落された『暗黑の第一日目』である事を豫言した果して露國は今や彼等の所謂『暗き民』のために野蠻なる意慾と無智の慾望とが相衛いて世はさながらに餓鬼道に陷つてゐる、全露國が彼等の暴力から救はれる時は果して何時の日であるであらうか私は今當日の模樣を記するに當つて彼等の爲めに熱い涙の溢るゝを覺ゆる

×　×　×　×　×

形勢の不穩な
露暦十月二十日は勞兵會代表者會が露都に開かる可き日であつたがケレンスキー政府はるを觀て此の總會を禁止した、此時は未だ不人望の政府にも相當に兵力があつたからレーニン一派は廿五日に延期する事に決し其間スモリヌイ大學に於て政府乘取の策戰を謀議すると共に鋭意兵引入策の手段を盡した、此兵とは農民と勞働者との集團であるから彼等は『土地の分配』『勞働時間の短縮』『工場の利益は勞働者へ六割工場主へ四割の分配』をたす可し』などゝ言ふ宣言を聞くと

柵から牡丹餅
の宣言を聞くと彼等は一躍に及ぼす過激派に內應して了つたためレーニン一派は直ちに市

九日冬宮を陷る可く衛戍兵を市內の要所要所へ配備し冬宮の附近へは多數の兵隊を忍ばせて置いた、ケレンスキー政府は愈々孤城落日の日が到來したと頼なして揉る情報は何れも自派に不利である、唯頼むは冬宮內の士官候補生と

婦人兵と戰線
にある一部の軍隊であるが危機切迫した今の場合戰線にある軍隊は如何ともし難い、冬宮の裏を流るゝネブア河に泛ぶアブロフ艦も河を挾んでつひ手近にあるペトロポロ要塞も總てのものが敵となつて了つた、市中には至る處に「理勢一揆の出現」と言ふ宣傳が風の如く傳つて今にも流血の慘禍は演ぜられるであらう砲彈が街を家を吹き飛ばすであらうと言ふ恐怖が幾百萬の市民を脅やかした

ネバ河畔より望みたる冬宮

聖クリスマス祭に 眞の平和の來らん事を祈る
加特力教會　主教ミッテル氏談

京城の一大異彩なる尖塔明治町加特力教會（佛蘭西教會）に於て主教ミッテル氏は雪消らかなる白鬚を撫でながら語る——。

私がこの朝鮮に來しからもう四十回の聖誕祭を過すことになりましたについて今更ながら過去四十年の思出を辿るに全く今昔の念に堪へません。道向には隨分色々な迫害もありましたつけな。その中でも大院君時代の事を思ふと今はゾツトします。加特力教信者といへば見付かり次第に虐殺を行ひその家屋を打毀すといふ全くの暴虐が恣いまゝ出たものですよ。しかし

◎地上の事といふものは永く續くものではありません

今は全くその樣な人の影も見わないではありませんか……歐洲戰爭ですか、全く悲劇ですけれど仕方ないのです。それにしても聯合軍が勝たなければ本當の平和は望めませんから私の身體は宗教界にある者ですけれども矢張祖國のため平和のために祈らざるを得ませんまた公平な眼から見てもさうです、假りに獨逸が勝つて一時の平和が來たにしてもそれは必ず近い內に又亂れなければならないでせう何故かといふに獨逸は全く兵力を以て橫暴を逞ふするだけで道德といふものは微塵も無いやうですから矢張り

◎如何しても聯合軍の方に大きい勝利がなければ

本當の平和は望めないでせう。私の教會からも十三人の傳導師が戰線に出ましたがその內二人は不幸にも戰死を遂げました。そして殘る十一人は今戰線に立つて働いてゐるといふ話ですがこの寒空に嘸辛い事でせう。何に付けても戰亂が早く終らなければなりません。今年もこの聖クリスマスの大祭に當つて早く我等に平和の來らん事を祈ると同時に我母國を始め聯合軍のために正しい勝利あらん事を神樣に祈るのであります

◇來た！來た!!

サンタクロースのお爺さん

◎朝鮮式の御殿を造營
昌德宮內殿造營工事は
來春匆々着手

昌德宮內殿の再築は景福宮康寧殿及び交泰殿を移して之に充て宮內に於ける諸般の調和上、朝鮮式の御殿を造營する事となり尤も內部には洋風の室を四五箇所設くる筈で又た

◇暖房の裝置　は舊慣上僅かに溫突を廢する事も不能ないので矢張り大理石其他の堅固な石材を以て溫突を築く事になつてゐる、右は總督府技師の手に於て目下設計中であるが、何分基礎工事其他の準備工事は來春匆々着手するとしても愈々建築に取掛るのは明年三四月頃であらう。而して鍬初めとも云ふべき『開基』の式は本月下旬の某日

◇朝鮮民曆に　ある『十…を動かし衣を裁ち（中略）開市納財等い吉し』とある曆の中段では『滿』二十八宿では『參』に中る日にて『開基』の式を行ひ更に明年一月『定礎』の式を行ひ夫れより順次建築の下準備に取かゝる豫定であるといふ、因みに此の『滿』と『參』とは何れ國の曆でもさうだが、土を動かしたり家城を建つるに當しといふ日である。

◎運送店主人は大泥棒
今春以來釜山東萊間電車にて荷物運送中頻々品物紛失するより釜山署にては內偵中の處[illegible]池田常地釜山貸家町三堤充喜（二五）の舉動に不審あるより同店に雇務中逮捕したるが十一月二十日以來日に十數回に亙り數十點五百圓の物品を拔取り賣飛ばせる者數人の手を經て入質せる旨自狀せり尙引續き取調べ中なり（釜山特電）

◎化粧品賣は賊
新潟縣南蒲原郡大崎村生れの前科一犯山田國平（三六）は京城明治町一丁目秋田果方に滯在し化粧品の行商を裝ひ合鍵を以て市內の商店に忍び入り[illegible]居たる一件は此の間京城地方法院にて懲役一年二箇月の處分されたり

◎無人島に避難
釜山草梁李才玉（二）慶南南海島村用順（二）外十三名は南海島より十六日五十石積みの帆船にて釜山に向け航行中去十一日午前十一時頃釜山沖外にて風浪の爲め難破し沖三里の無人島に上陸して避難し一記名は船員と共に漂流中航行中の汽船に救助され下關に上陸することを得たりと

◎現金三千圓を竊取す
忠南瑞山郡大安面東門里三百十四地農白秉鶴（二）は十一月二十日夜同面南門里白某方に忍び入り合鍵にて同家の簞笥を開き格中の現金三千圓及び白木綿の袋一個を竊取して土中に埋藏し一部は消費し居れることを瑞山署にて探知し此の程同人を逮捕し取調べの結果二千三百三十五圓餘を發見押收して尙取調べ中

◎汽車に跳ねらる
二十四日午前十二時四十八分龍山驛發改山行貨物列車が龍山錦町踏切に差蒐れる際高陽郡中部里文元某妻朴姓女が線路上に佇立し居れるより機關手は卽時停車せしめんとしたるが餘力にて刎ね飛ばされ前額部に橫三糎ほどの骨膜に達する裂傷其他五箇所に打撲傷を負ひ人事不省に陷れるより彌生病院に收容手當を加へたるが生命には別狀無し

◎江で凍死
高陽郡知道面新坪里の池江に十四日屍體漂着せり取調べの結果永登浦面堂山里の李敬植（三四）と言ひ渡舟に乘らんとし誤つて江中に墜落して凍死したるものゝ如し

◎水死
高陽郡龍江面東幕上里稻氏（二）は昨年前より精神に異狀を呈し居り以前二回投入水して自殺を企てしも果さず十二月十六日夜十二時頃同村の共同井戶に投身して自殺を遂げたり

◎小火
二十三日午前十時二十分頃京城鍾路一丁目四十番地飲食店浦上鑄久太方より出火常備消防隊出動して卽時消止む

一大石南山後援會
南山大石氏は[illegible]新道名流か敬さに朝鮮に渡り始政五年朝鮮物產共進會に金、銅、玉石、木、竹、水晶其他各種七十餘顆の印刻を出陳し其の雅健を認められし人[illegible]

大石南山篆　文曰、文鵬氏功

[illegible]玉、水晶、瑪瑙、金、銀、銅[illegible]印材[illegible]京城[illegible]

◎僞名ぜる曲者
平壌郵便局より鹿兒島縣多額納稅者上野喜左衞門宛其の女婿仁川慶田組主人の名義にて本月十五日金一萬五千圓を電報にて許取せんとしたる平壌櫻町居住大江田中一夫事中野寶雄（二）は平壌署にて取調べの結果十一月二十日平壌本町平松石炭商方に忍び入り銘仙六反外二點を竊取したる曲者と判明したり

◎橋の火事
黃海道沙里院[illegible]面に架しある木橋は去る十八日午前一時頃發火し幅二間長さ十五間の同橋を全燒して午前八時頃鎮火せり損害約五百圓直ちに假橋を架けたるより交通には支障なし

◎保育院へ寄贈
市內南米倉町一丁目谷良英氏は歲末[illegible]の爲め金二十圓か旭町一丁目[illegible]太郞氏は[illegible]小兒保育院へ寄贈したり

うわさのさ
▲這度癌で逝去された青山博士は古來英雄は癌で死ぬものが多い癌は英雄病だと斷定して居つたが▲某階の讖に依れば癌は大抵富貴の身となつた人が粗食から急に美味を攝つたり大酒を呑むなど食物の變化から起るもので彼のナポレオンでも故岩倉公でも岩崎彌太郞、彌之助兩氏でもみんなその例に洩れぬ▲故市原盛宏氏の如きは貧しいうちに硬いものを喰つてゐたものが富むんで軟かいもの許り喰べて居たゝめ腸の緊縮力を失つて病因を惹起したなどと言ふ例は多くさんある▲これでみると傑出した人物に癌が多いと言ふのも一面の理由があるだらうと▲鮮銀秘書役の松瀬子爵は名門の出なるに拘はらず、恐ろしく元氣旺盛の人だ▲此の寒いのにズボン下もシャツも著ず、それで風邪も引かねば寒いとも云はぬ、いつも血色の好い顏を見せてゐる▲銀行ではなるべく薄著をしてゐてもヒーターのため上せると話してゐる▲瘦せ我慢でなく本當に耐寒力の強い人らしい

贈答品は
優美なる漢陽高麗燒種々
大好評の明太魚カラスミ
三本入 五拾五錢　五本入 八拾一錢　七本入 壹圓拾七錢　十本入 壹圓六拾五錢
御進物用化粧箱入
京城本町一丁目　海市商會　電話二五〇番 一三五四番

京日案內

普通五號一行一回前金[illegible]　番外一回前金[illegible]

◎開店引受たし　商品擔保貸付　大々歡迎　京城明治町二丁目　電話二四八八番　淡路屋　165

▲電話讓受たし　（姓名在社）

▲金融　月收の方に極秘信用貸付　官吏　京城本町五丁目　電話一〇三八番　大和屋質店　193

◎看護婦見習生募集　希望者は至急來談あれ　仁川　本病院　191

御通町　月收の方へ極秘迅速御用立　大和町[illegible]　177

◎女事務員入用　シンガーミシン會社[illegible]　186

診療[illegible]　看護婦[illegible]希望者は至急[illegible]持參　仁川　支店　188

餅　例年の通り　あん賣出し　京城若草町　電話九五番　192

商品切手賣買　京城永樂町二丁目五番地　電話一四九八番　丸五商會　190

◎醫師雇入度し　希望者は履歷書持參又は郵送あれ　永樂町二丁目　電車前　村上病院　180

○ほねつぎ　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　87

◎新古ミシン賣買　電話又はハガキにて一報次第參上　京城鍾路二丁目　電話二三八一　楠商會　102

恩給年金立替　退職時取立　京城櫻井町一九八番地　博多屋　110

風船ゴム　寶月　京城太平通二丁目　太陽商會　129

恩給年金立替　最低利即金　京城若草町　電話三〇壹壹番　西村商會

京城土地家屋放賣　旭町　日本式官舍　[illegible]　191

各位　忠川　多田

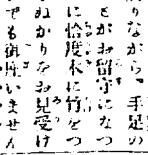
軍隊拂下品
紺ラシヤ外套　一枚に付き金一圓六十錢　限り二千枚
鐵道局拂下外套各種
其他防寒襦袢、袴下、手袋、覆面、沓下、毛布、巻脚絆、外拂下德川品一切
京城北米倉町　メリヤス雜貨卸商　村上商店　電話千百十二番

手足を美しく
皮膚全體の調子を整へる事

芝雀改め　中村雀右衛門談

當節では一體御婦人方の化粧法は大層進歩して參りまして[illegible]として婦人の化粧法に[illegible]苦心を致して居ります。私共[illegible]

[illegible]りまして純白で當人の苦心もありませうし、また先輩の人達が永い間の經驗から得た化粧法の助言もありますせいかそのやうな手落ちは少ないやうで御座います。申し上げるまでもないことで御座いますが元來化粧といふことは只顏へばかり白粉を塗り立てることでは無く、廣く申しますと身體全體をきれいにするといふことなので御座いますから、手足の化粧にも充分注意して頂き、襟、頸筋などの化粧と巧みに調和を保つことが肝要で御座います。しかしお化粧の場へになつて急に手足を美しくしようとしましてもまことに無理な注文で御座いますから、毎朝洗顏の際毎日の入浴の機會に其都度々々充分の注意をして顏は元より肌や手足の皮膚の組織を根柢から美しく磨ひ上げる心がけが肝腎で御座います。



浴槽の中へ、ミツワ花の素を凡そ盃に一杯ほど、又湯屋へ御出でた入浴の際には[illegible]の力は桶に取りました上り湯の中へミツワ花の素を三四滴たらして湯を使ひますとさした程もせず面も質澤に爽かな品のよい匂を樂しみながら快い入浴が出來ます[illegible]

[illegible]樣に思はれますまでですから指先まで丁寧に石鹸をつけて洗ひます、しかするとは此石鹸の特種の御用で污垢は泡に吸はれる樣になつてするりと氣持よく落ちて皮膚の全體が生々と淸潔になりますから、顏、肌、手足の調子が自づと揃つて來て前に申した木に竹をついだやうな不自然さが無く、從つて巧妙な化粧振りを自在に發揮することが出來ます。

（前號より續く）[illegible]十二萬圓の多きに達したるが今や年末の需要期節に差迫りたるを以て市價益々昂騰し十二月中の總水揚高は十五六萬を算すべくして本年は上半期下半期二期を通算する時は八十六萬餘圓に達すべくこれを例年の六七萬圓に比すれば二十餘萬圓の激增を見るに至る率を示し市場相場に於ては平均二昨年に比し七割前年に比し六割の高率を呈したるに因る之れ生活狀態昂上せし結果ならんも一は戰亂せしに僅かに二三十萬圓に過ぎる狀態に向ひたる結果內地各市場の需要に不足を告げ自然朝鮮魚の移入を仰ぐに至りしに因るものな鮮等の如きは例年に對比すれば四倍以上五倍の高率を示すに至る之れ全く今年鮮魚の[illegible]良好の結果生活程度の昂上せしに因るべし又[illegible]

◎羊毛需要照會
英國政府の問合せ
英國政府は我國の羊毛需要に關し最近一の照會を寄せ來れり照會の[illegible]つて各國への配供給せんとするに羊毛をも送り來らず民間用七萬數千俵に就きては何等の決定を見ずして今日に及べり斯くの如く今春來の問題の尙ほ解決を見ざる今日[illegible]花りと稱せらる我毛織物業者は近く回答を送ることゝなるべきが此種の照會は今春も英國政府より寄せ來りたることあり當時我當業者再び同樣の照會を寄せ來れること[illegible]

[illegible]四司溝十二月中旬の[illegible]は[illegible]計十六萬二千三百九十四圓內移出十四萬六百六十一圓移入二萬一千六百二十三圓にして一月以降累計は三千二百十萬九千百九十三圓に上り前年同期に比し[illegible]餘萬圓の激增を示せり

櫻御殿

大阪 霞の家主人

第百六回 恩と仇 (六)

『何といふ憎い口上でござりませう、大殿様の御家來ではあつても方様の御家來でないと云ふのは、若殿様を有つて無いに致すのでござります』と芳野は齦で歯噛みをした

『よし〜』と美知姫は唾を嚥んで

『清之丞が爾う云へば、わしの方にも思案がある。第一初瀬を捨てたのお氣に入らぬ』

美知姫は清之丞の思ひ掛けぬ點に意地を持つた、初瀬との戀中は自らも許して居た、關ヶ原の一戰が味方勝利の下に落着したら、正則正之の同意を經て、すぐ祝言の盃をさせやうと考へて居た、初瀬も芳野も、江戸から供に伴れて來た女なので、召使ではあるが我が子同様に思つて居た、清之丞と縁を結んで、相互に能好く忠節を盡してくれたらお家の柱にもなるであらうと歡んで居た

それががらりと顛覆つて、今まで命にして居た清之丞が忽ちに背後を見せる、初瀬が血を嘔やうに慕ひ寄るを、用捨なく追ひ拂ふ、その爲めに初瀬は半狂亂になつて御殿を出た、切な戀にはさうしたものと同情するほど、初瀬の上が可憐くなる、初瀬が可憐くなるにつけて清之丞が憎くなる

美知姫は男にもあるまじく思はれるほど意地が強かつた、負ける事嫌ひな氣性から、おのれ清之丞、わしの一心でも初瀬の思ひを遂げさせずに置かうか、と思つた、そこへ釆女の報告を聞いたので腸も千切れるほど腹が立つた

『わしを主と思はねば、わしも清之丞を家來と思はぬ、此の仇はきつと取る、今に見い、思ひ知らせてくれやうに』と決心する

あはれ初瀬の一睜から、清之丞と美知姫との間に厚い壁が生きた、清之丞が夢にだも思はぬ邪魔が櫻御殿の中に生きた

そこで問題は後へ戻る

『方様、何うしたものでござります、清之丞が承引致さねまでも、初瀬どのを見殺しに致すことは爲るまいぢやござりませぬか』

芳野は美知姫を見上げながら云つた

『わしに思案がある、今日はこのまゝにして、後を篤と考へやうわの』

その座はそれで果てた、するとその夜美知姫は芳野を呼んで

『其方の兄に何とか云ふ士があつたでないか』と訊いた

『凰早利右衛門で厶りまするか』

『おゝ、その利右衛門、今は何處に居やるかの』

『關ヶ原御陣の砌、仔細あつてお家を退轉、只今は大阪の鳳島とかに申す處に、詫住居を致して居ります』

『呼び寄せる工夫はあるまいか』

『飛脚を遣はしたら、すぐ登るであらうと存じます』

『それでは急飛脚で呼び寄せてもらぬか、初瀬の助太刀が頼みたいと思ひます』

『好い處へお氣付きなされました、兄ならきつと致します』

『さらば大急ぎで……』と美知姫は急ぎ立てるやうに云つた

芳野はおのれの兄が、お家のお役に立つのを歡んで、部屋へ退ると共に一番を認め、廣敷番に頼んで急飛脚を仕立てさせた、大阪までは四日路、今の間に返事が來るであらうと、芳野は指折り數へて待つた

清之丞は美知姫に睨まれながら忠義を勵んだ、美知姫へは不忠でも正則には二人とない忠義兒であつた、殊に關ヶ原陣に於ける勵功は、正則以外に知るものゝない大効果を收めた、されば美知姫が彼を憎む情と、正則が彼を愛する心とは、同じほどの勢力をもつて注がれた

鯨問屋
東洋捕鯨株式會社特約販賣店
香月商店
京城明治町二丁目

石炭各種 西崎商會
京城太平通二丁目 電話七二七番

千代田號印舖
京城本町
電話九八七番 口座九八七番

大阪期米

▲二十四日前場
▲當限寄付 二十二圓八十七錢
▲中限寄付 [illegible]
▲先限寄付 [illegible]

行きを示して散會
後場中限一節十九圓七十錢六十七錢五錢四錢三錢二錢三錢四錢五錢...[illegible]
二節六十三錢平均値段六十三錢四錢三錢...[illegible]

仁川米豆取引所

二十四日の二月限
寄付 十九圓五十六錢
... [illegible]

下關期米

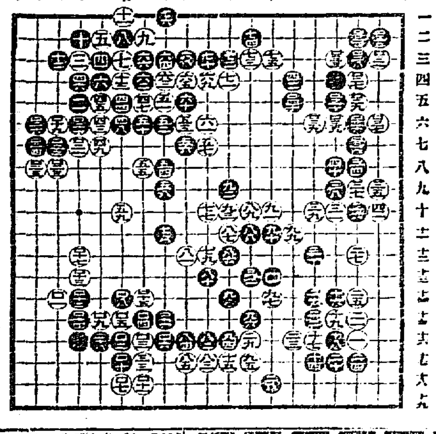
▲二十四日後場 [illegible]

圍碁手合

十一番碁 第二局の八 (完)

三段 山平壽氏 二子 大久保雅彥氏

白の七百二十一より黑へ五百四十(手)迄黑中押勝



講評

白六七はかの二黑八の所に粘るが普通にして白より四三を黑十四にて四三か四四に備ふるは黑三四は□三八に打ちて白三七に掛けられては損なり黑三九に打ち白三八の時矢張り四三に打つて善しとす白四七は□一十に抑さゆべき所なり白五七は無理なること甚だしく黑より六十と截られるを見損じ大なる損害を蒙れり白六七の粘ぎにても六八に抑へ置かば損害輕少なりしならんも譜の如くなりては失ふ所益々大なり黑七二は七四へ打つべし白□十九は先づい印にあてる所なり白□三三の截り惡し單に□三六に行びしならば敗ながら未だ細非に終り得しならんも之れにて大勢全く定まれり要するに本局は白六二三手以來彌縫策に汲々たりしも黑善く應戰し爲め大捷を得たり(黑中押勝)

新年號紹介

▲フースヒー(三月創刊號) 當雑誌は指さ絲めて痛快にて讀んで面白する記事等あり(一部五十錢)東京府豐多摩郡
▲地方行政(一二) 會費一箇月十錢 京市京橋區加賀町九番地方行政學會
▲人格と幸福(五の一二) 東京市小石川區 明治哲學會
▲經世(一八一) 十五錢 東京市芝區田村町六番地世社
▲活動寫眞雑誌(四ノ一) [illegible]八講談社
▲面白俱樂部(三ノ一) [illegible]
▲講談俱樂部(四ノ一) [illegible]
▲娯樂世界(名人大家十八番そろひ) [illegible]
▲少女畫報(七ノ一) [illegible]
▲少年(一七二) [illegible]
▲少女(六一) [illegible]
▲日の丸(三ノ一) [illegible]
▲講談雑誌(新年號) [illegible]
▲主婦之友(新年特別號) [illegible]
▲土木建築工學(四ノ四) 二十五錢 東京日本橋本石町一の一工學社
▲臺灣教育(一八六) 臺灣總督府民政部學務部內共會
▲辞祭新報(四ノ二四) 一箇月十五錢 東京市芝區新明町二の十四日本警察新聞社
▲圍碁虎之卷(一二一) 二十二錢 東京麹町區富士見町四三 富之日本社

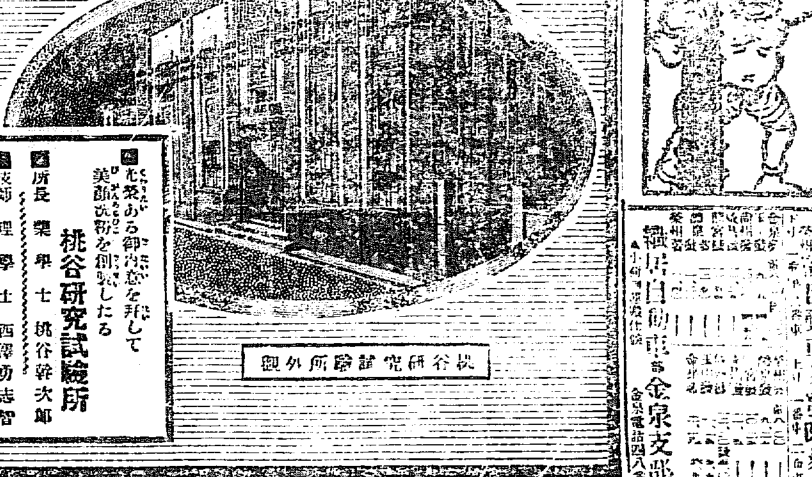
壹千反限り
高貴織
正金代用 金指輪進呈
高貴織が一圓七十錢で買るとは原料の高き今日嘘の様だが現に過去九年間呉服の格安販賣で評判をとつた東京日本橋區本石町一丁目呉服問屋關谷商店が最新流行新機商の織物を前記の廉價で投賣しつゝある [illegible]

寫眞 [illegible] 寫眞製版部

高の道しるべ 村上雅吉氏著 定價十五錢 郵税二錢
京城太平通 京城日報社代理部

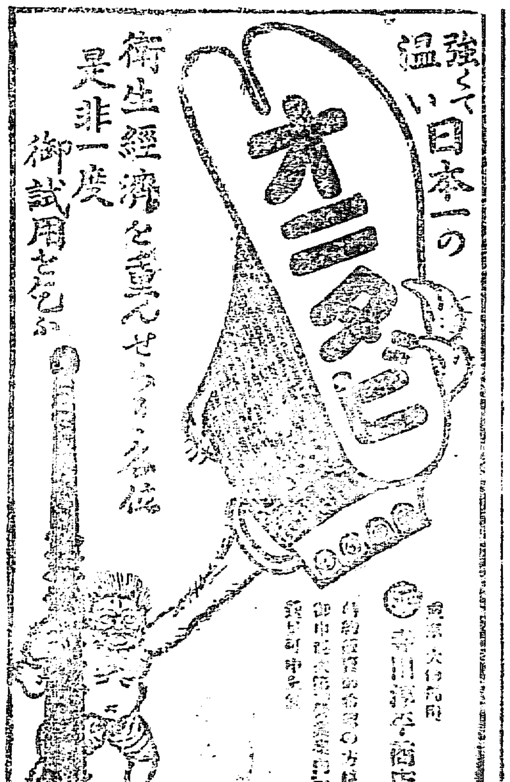
業務親切 倉庫完全
片山質店
明治町二丁目(本町裏小路)
電話二六五番 振替京城三七〇五番
勸業貯蓄債券高價買入

佛蘭西式 純白 美顏洗粉
皮膚の美しさを增すのに是非必要な蛋白質と中性脂肪とを適度に含んで居り、それに皮膚の荒れを防ぐ粘液素と、垢ヌケして美しくなる力の強い原料など、凡て專門の學者が新しく研究した美容原料を配合せて製へた優秀な洗粉ですから、は皮膚を氣持よく洗浄めるばかりでなく、皮膚を滑かにして美しき光澤を添へ、垢ヌケして、容貌の美しさを增す作用が特に優れてゐます。それに此洗粉は一見他の洗粉と違ふ程色が純白で且つ匂ひが清新なので、近頃ます〜評判です



桃谷研究試驗所外觀

光榮ある御內意を拜して美顏洗粉を創製したる
桃谷研究試驗所
所長 藥學士 桃谷幹次郎
技師 理學士 西澤勇志智
同 醫學士 米倉昌達
同 千葉藥學士 小磯勝次郎
同 仝藥學士 齋藤銳助
顧問 醫學博士 丹波敬三氏
同 藥學博士 山本淳二氏



強くて温い日本一の
衛生經濟を兼ねせ[illegible]
是非一度御試用を乞ふ
[illegible]商店

エルチン
梅毒 有無診斷液
梅毒の疑 あるかは背中に就いて エルチンの注射を試みよ 有無直ちに判明せん
[illegible]
說明書入用の方へは郵送次第無代進呈
[illegible]株式會社總商部

日本郵船仁川出帆
大連行、秦皇島行
相模丸 一月十日
竹島丸 一月十一日
淡路丸 十二月廿九日 正午出帆
仁川本町一丁目 郵船出張所 [illegible]

大阪商船株式會社 仁川出帆 汽船出帆廣告
木浦・神戶、大阪行 濟州丸 十二月廿七日午前五時出
木浦、多島海・鎮南浦、長崎行 安東丸 十二月廿六日正午出帆
安東丸 一月八日正午出帆
大連直航 安東丸 一月廿一日午後二時出
宮島丸 一月四日正午出帆
西湖津、城津、清津行 [illegible]
上海航路 [illegible]
御注意 [illegible]
大阪商船株式會社仁川支店 [illegible]

自動車發着時刻
[illegible]
金泉支部 金泉電話四八番

釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行 [illegible]
元山、浦潮行 [illegible]
佐須奈、嚴原、芦田、勝本、博多行 大興丸 [illegible]
元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 [illegible]
門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 [illegible]
大池回漕部

尼崎汽船部仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶行 秀吉丸 十二月廿九日 大有丸 赤城丸 君代丸 [illegible]
仁川 尼崎汽船仁川出張所 高杉回漕部

三共同汽船仁川出帆
大連行 共同丸 十二月廿六日午後八時出帆
阿波共同汽船株式會社 [illegible]

朝鮮郵船
仁川代理店 野口商會 京城代理店 河村運送店
釜山支店 元山出張所 [illegible]

○浦ロ行(元山より雄基行) 平壤丸 十二月廿八日 元山發
○京城行(釜山より北面行) [illegible]
○元山より北面名川雄基行 三浦丸 京城丸 咸鏡丸 [illegible]
○京畿丸 一月五日 元山發
○成鏡丸 十二月卅一日 元山發
○京城丸 一月五日 [illegible]
○濟州島行 濟州丸 十二月廿七日 木浦發
○全州丸 全州丸休航 毎日 仁川發
○南陽丸休航 一月一日 毛休航
○江原丸 十二月廿七日 仁川發
○元山より釜山門司神戶大阪行 平壤丸 一月二日 元山發
[illegible]